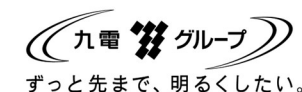


川内原子力発電所及び玄海原子力発電所
火山活動のモニタリング評価結果
(2025年度報告)

【別冊】

2026年6月22日
九州電力株式会社

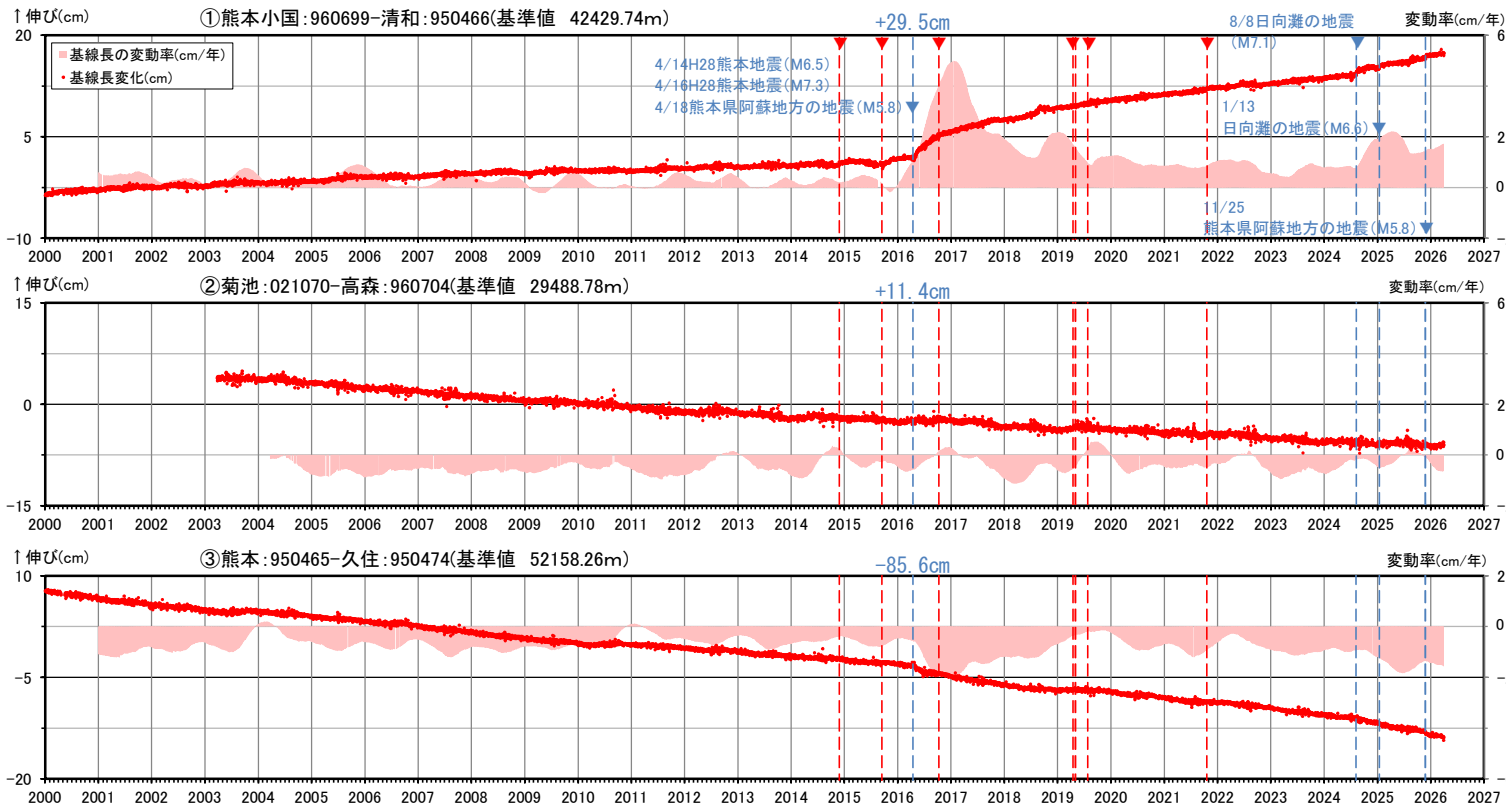


目次

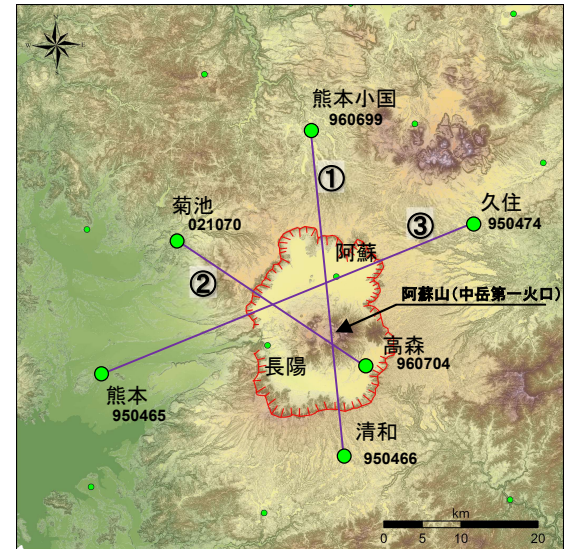
①	阿蘇カルデラ	P 2
②	加久藤・小林カルデラ	P 6
③	始良カルデラ	P 12
④	阿多カルデラ	P 22
⑤	鬼界	P 26

① 阿蘇カルデラ [主な監視項目:地殻変動・地盤変動(GNSS基線長変化)]

「3. モニタリング評価結果」での各カルデラの [主な監視項目:地殻変動・地盤変動(GNSS基線長変化)]及び [主な監視項目:地殻変動・地盤変動(GNSS各観測点の鉛直変動)]において、地震による地殻変動の影響を補正する前の図を示す。



基線①～③の時系列変化

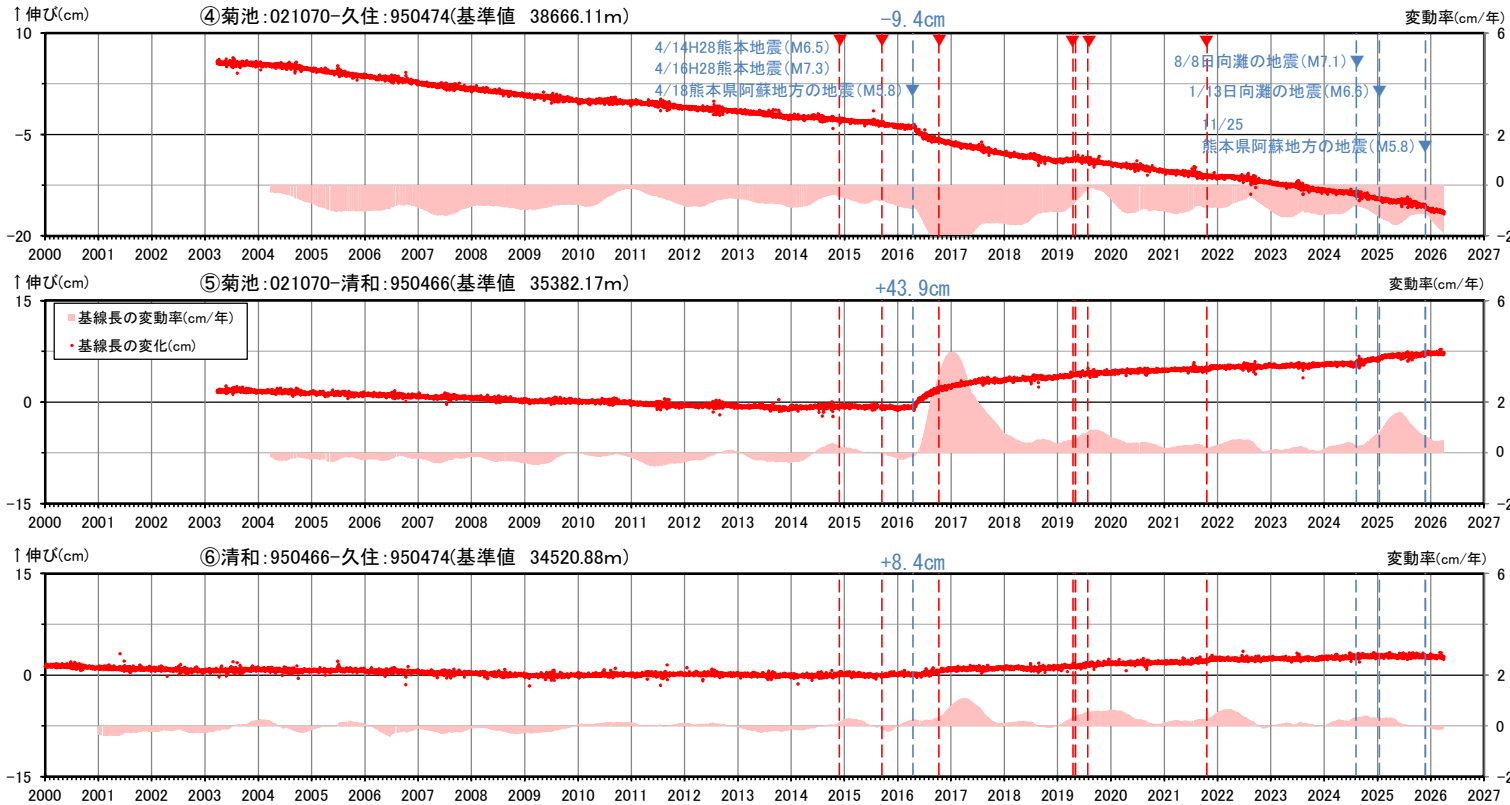


● 国土地理院のGNSS観測点

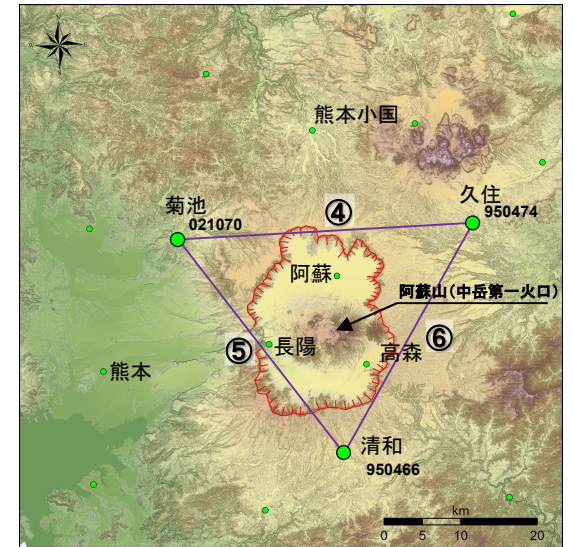
- ※1 2010年1月1日の基線長を基準値とし、基準値からの変化量を表示
- ※2 変動率は過去1年間のデータを用いて求めた近似式により算出
- ※3 赤色の▼と点線は主な噴火を示す
- ※4 青色の▼と点線は「3. モニタリング評価結果」で地震時による変動を補正した地震を示す
- ※5 H28熊本地震を含む地震については、地震時の変動が大きいため変動量を補正し、変動量は図上に記載している

本資料で用いている図面の作成に当たっては、国土地理院基盤地図情報の「基盤地図情報(数値標高モデル)」10mメッシュを使用したものである。

① 阿蘇カルデラ [主な監視項目: 地殻変動・地盤変動(GNSS基線長変化)]



基線④～⑥の時系列変化

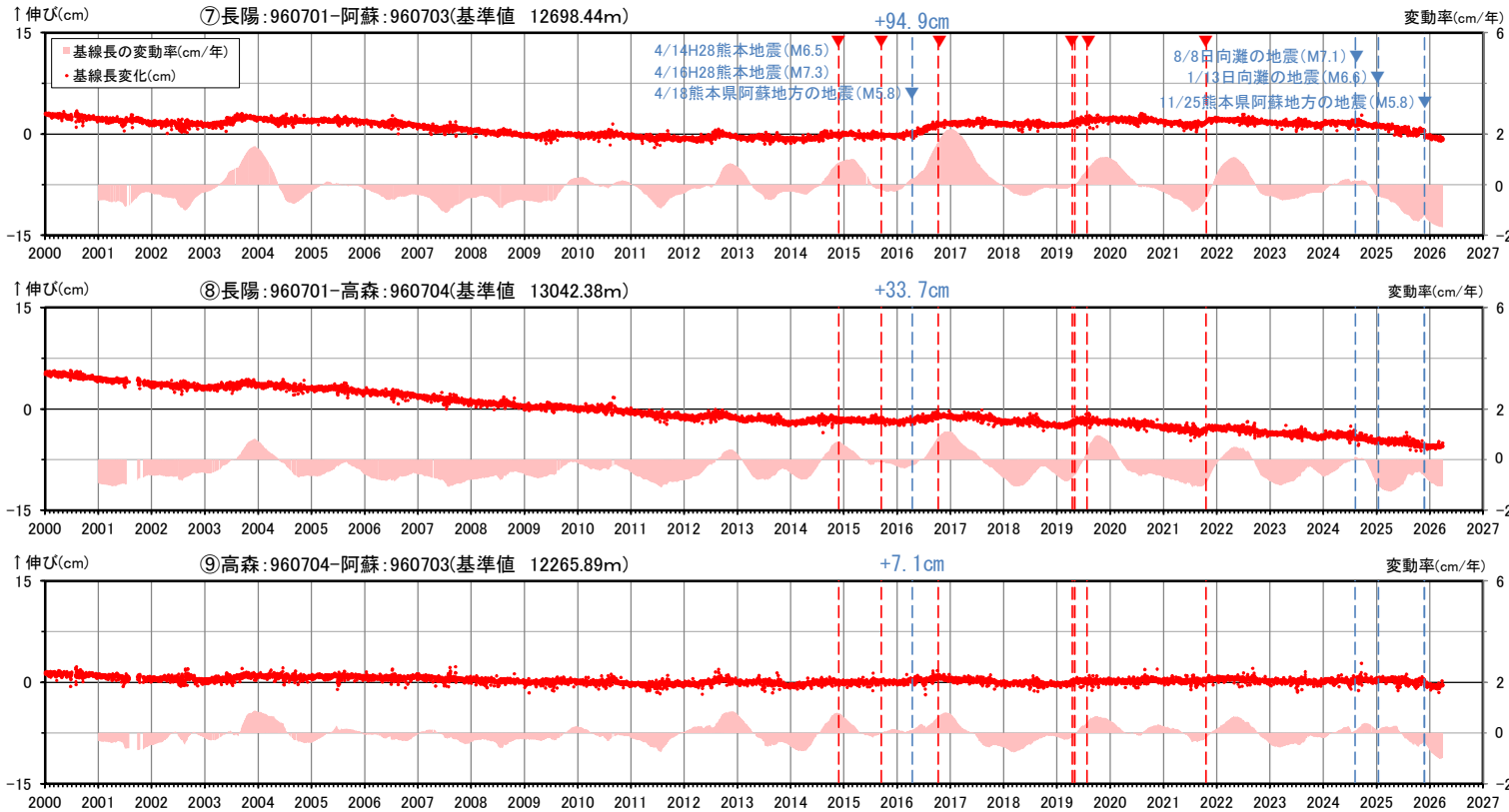


● 国土地理院のGNSS観測点

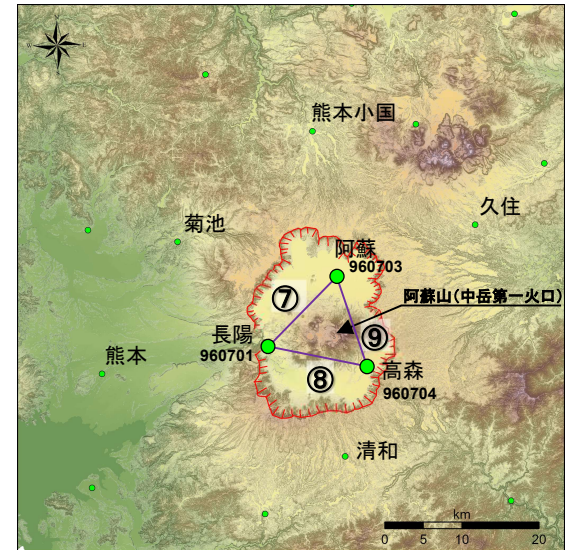
- ※1 2010年1月1日の基線長を基準値とし、基準値からの変化量を表示
- ※2 変動率は過去1年間のデータを用いて求めた近似式により算出
- ※3 赤色の▼と点線は主な噴火を示す
- ※4 青色の▼と点線は「3. モニタリング評価結果」で地震時による変動を補正した地震を示す
- ※5 H28熊本地震を含む地震については、地震時の変動が大きいため変動量を補正し、変動量は図上に記載している

本資料で用いている図面の作成に当たっては、国土地理院基盤地図情報の「基盤地図情報(数値標高モデル)」10mメッシュを使用したものである。

① 阿蘇カルデラ [主な監視項目: 地殻変動・地盤変動(GNSS基線長変化)]



基線⑦～⑨の時系列変化

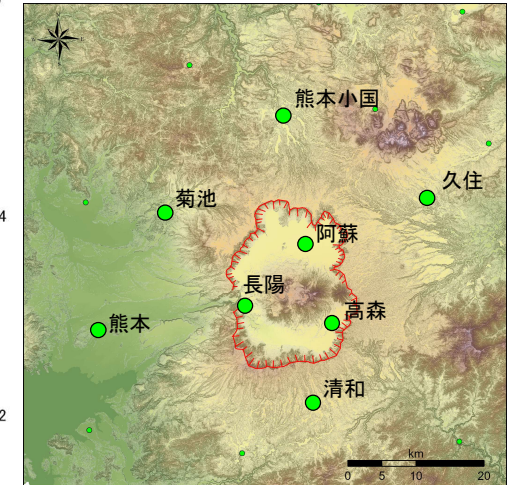
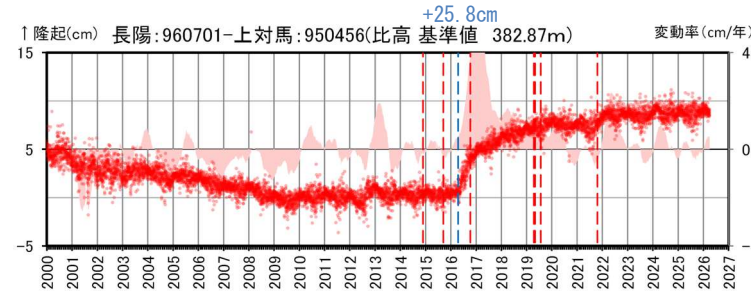
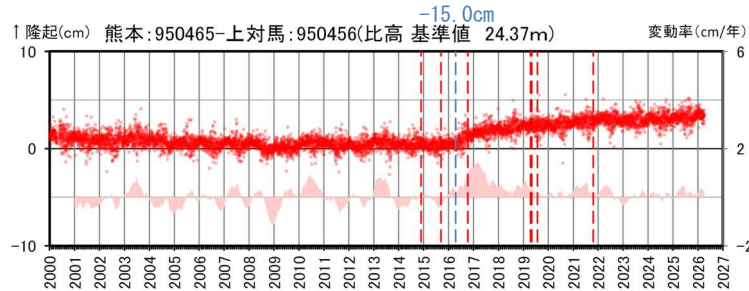
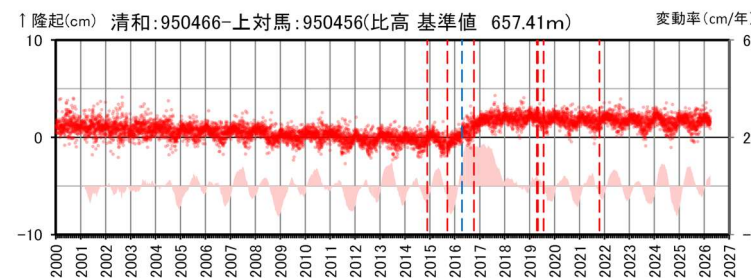
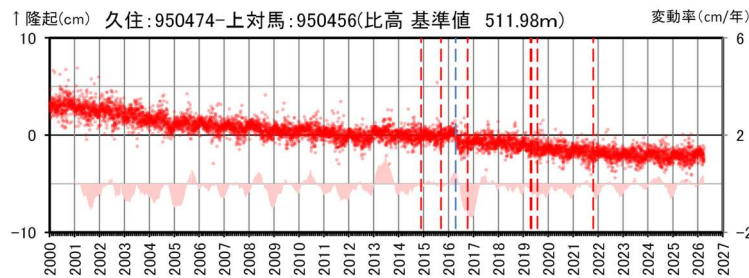
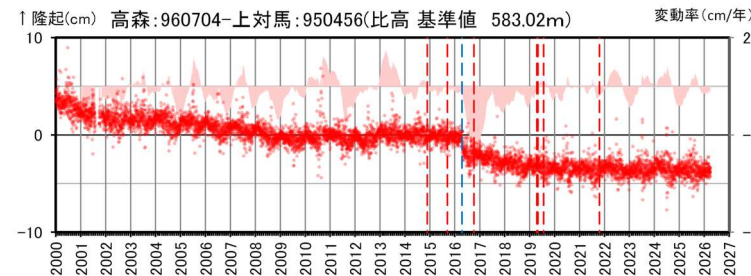
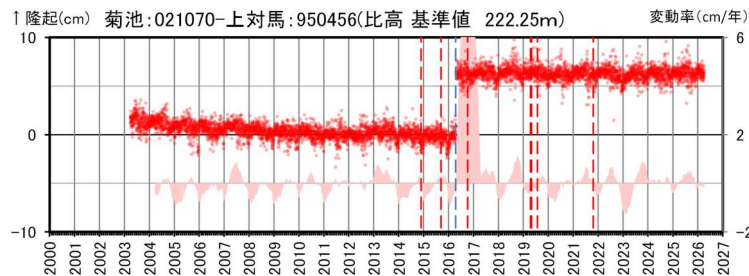
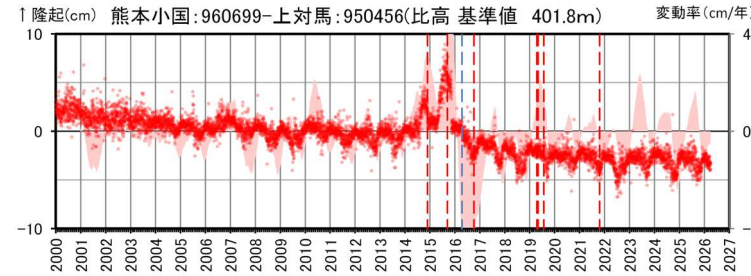
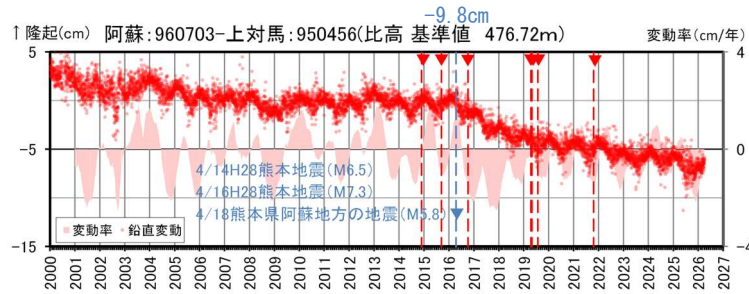


● 国土地理院のGNSS観測点

- ※1 2010年1月1日の基線長を基準値とし、基準値からの変化量を表示
- ※2 変動率は過去1年間のデータを用いて求めた近似式により算出
- ※3 赤色の▼と点線は主な噴火を示す
- ※4 青色の▼と点線は「3. モニタリング評価結果」で地震時による変動を補正した地震を示す
- ※5 H28熊本地震を含む地震については、地震時の変動が大きいため変動量を補正し、変動量は図上に記載している

本資料で用いている図面の作成に当たっては、国土地理院基盤地図情報の「基盤地図情報(数値標高モデル)」10mメッシュを使用したものである。

① 阿蘇カルデラ [主な監視項目: 地殻変動・地盤変動(GNSS各観測点の鉛直変動)]



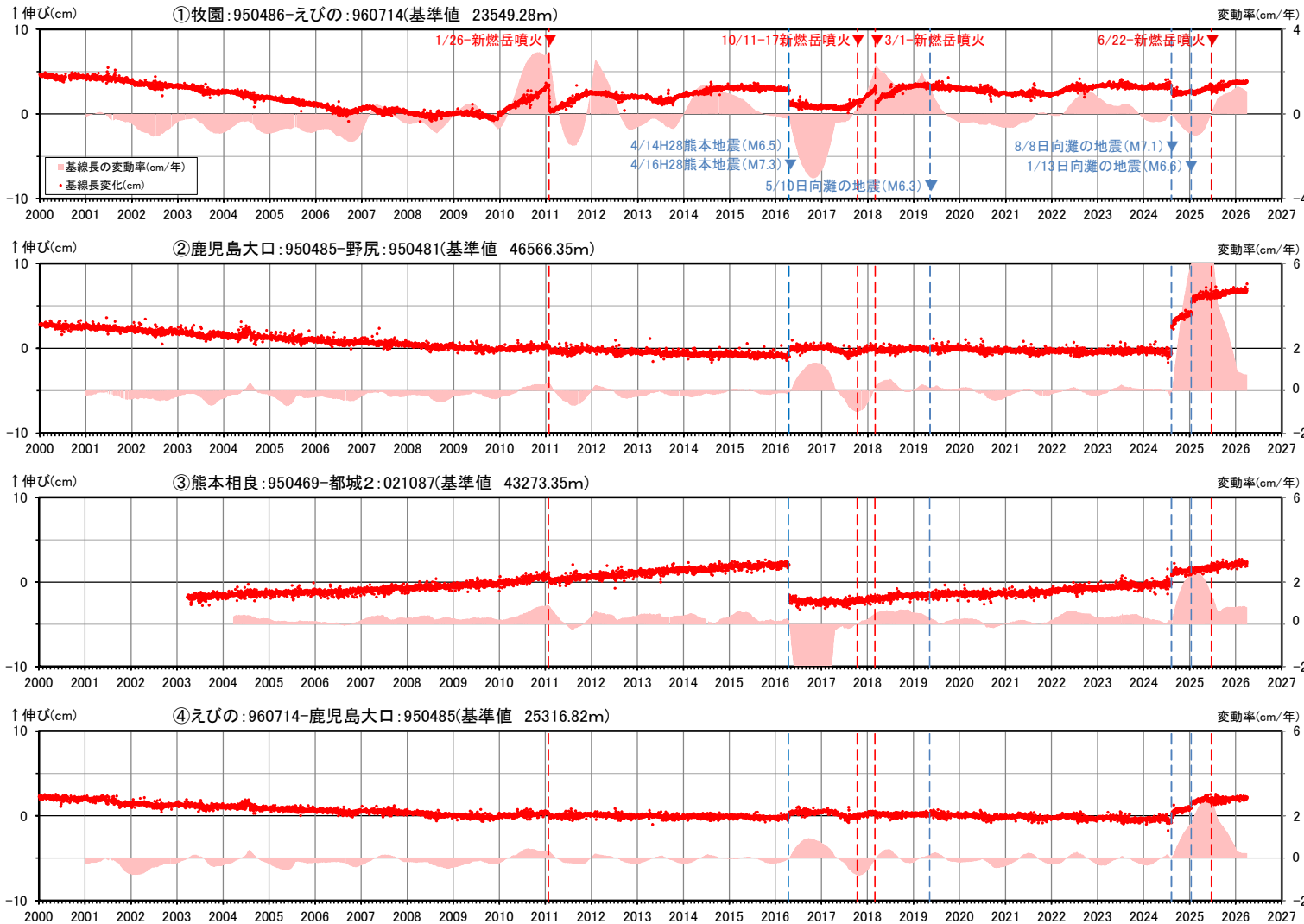
● 国土地理院のGNSS観測点

- ※1 2010年1月1日での950456(上対馬)との比高を基準値とし、基準値からの変化量を表示
- ※2 変動率は過去1年間間のデータを用いて求めた近似式により算出
- ※3 熊本小国の2015年の変動は、電子基準点周辺の樹木により衛星の補足状況が悪くなったため、大きくなっている。なお、2015年11月に樹木の伐採を実施
- ※4 長陽の2021年後半～2022年1月の変動は、電子基準点周辺の樹木により衛星の補足状況が悪くなったため、大きくなっている。なお、2022年1月に樹木の伐採を実施
- ※5 赤色の▼と点線は主な噴火を示す
- ※6 青色の▼と点線は「3. モニタリング評価結果」で地震時による変動を補正した地震を示す
- ※7 H28熊本地震を含む地震については、地震時の変動が大きい阿蘇、熊本、長陽は変動量を補正し、変動量は図上に記載している

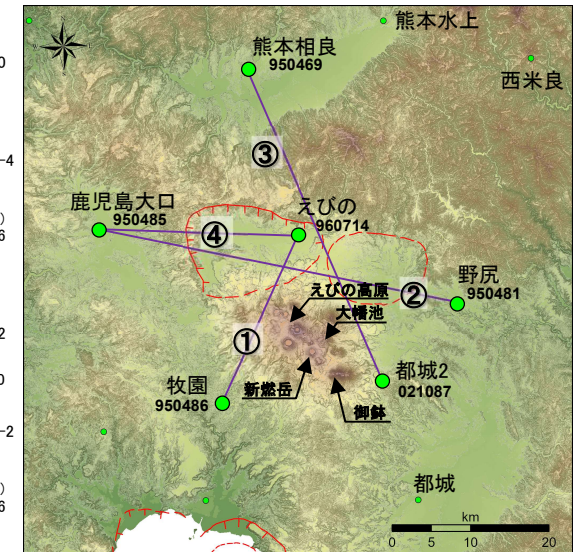
本資料で用いている図面の作成に当たっては、国土地理院基盤地図情報の「基盤地図情報(数値標高モデル)」10mメッシュを使用したものである。

950456(上対馬)を固定点とした比高の時系列変化

② 加久藤・小林カルデラ [主な監視項目:地殻変動・地盤変動(GNSS基線長変化)]



基線①～④の時系列変化

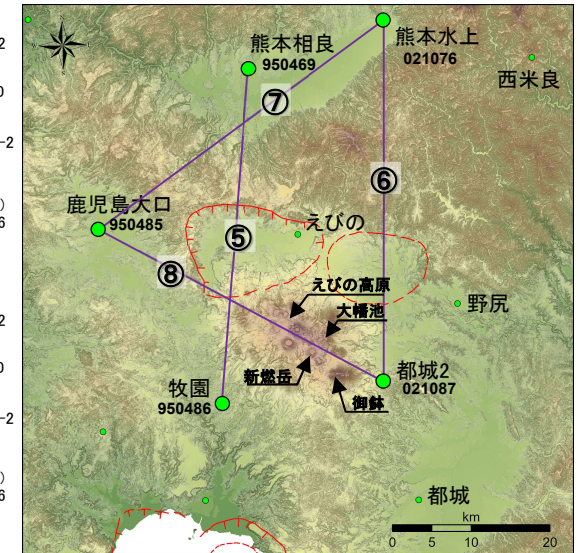
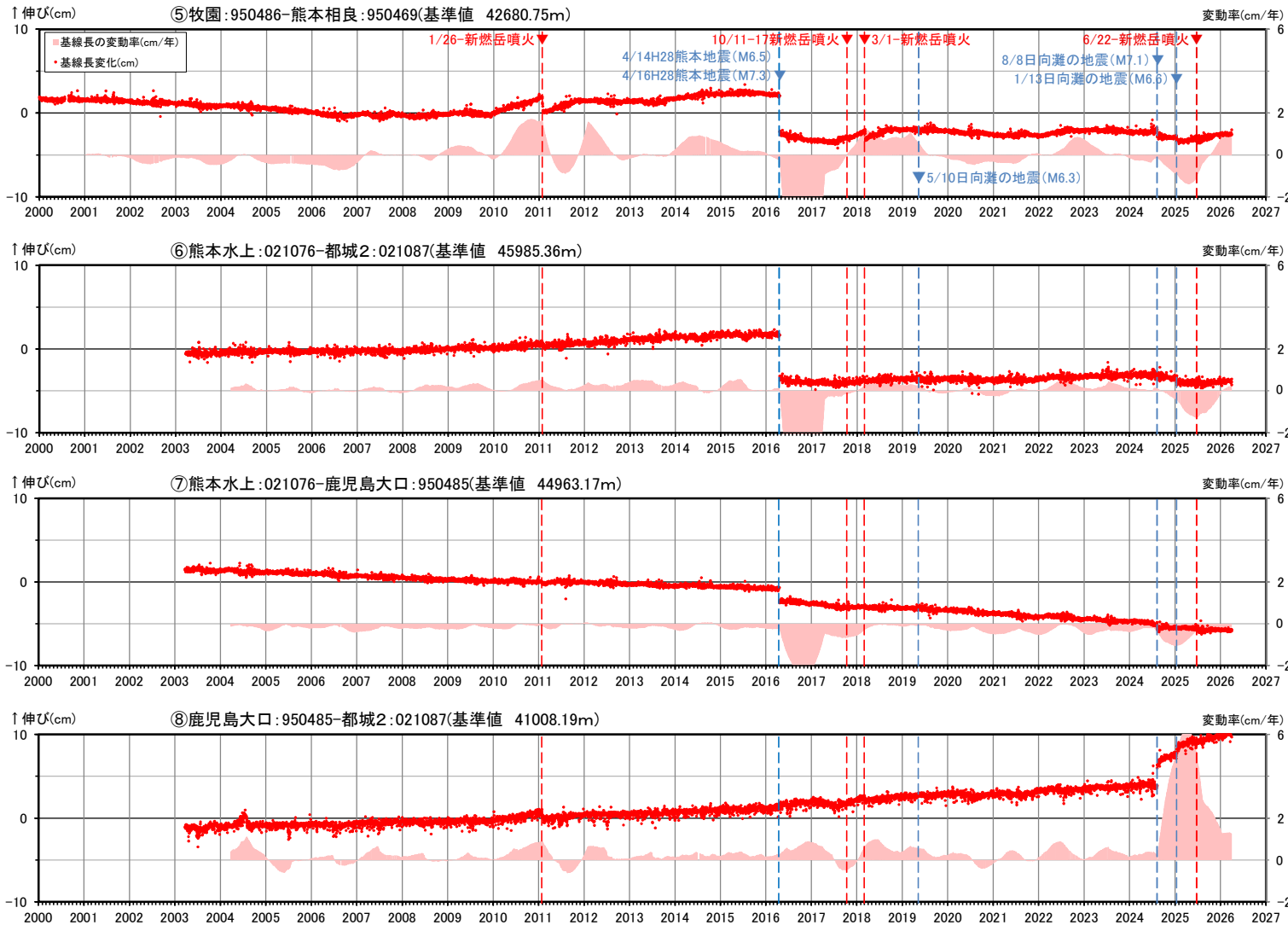


● 国土地理院のGNSS観測点

- ※1 2010年1月1日の基線長を基準値とし、基準値からの変化量を表示
- ※2 変動率は過去1年間のデータを用いて求めた近似式により算出
- ※3 赤色の▼と点線は主な噴火を示す
- ※4 青色の▼と点線は「3. モニタリング評価結果」で地震時による変動を補正した地震を示す

本資料で用いている図面の作成に当たっては、国土地理院基盤地図情報の「基盤地図情報(数値標高モデル)」10mメッシュを使用したものである。

② 加久藤・小林カルデラ [主な監視項目: 地殻変動・地盤変動(GNSS基線長変化)]



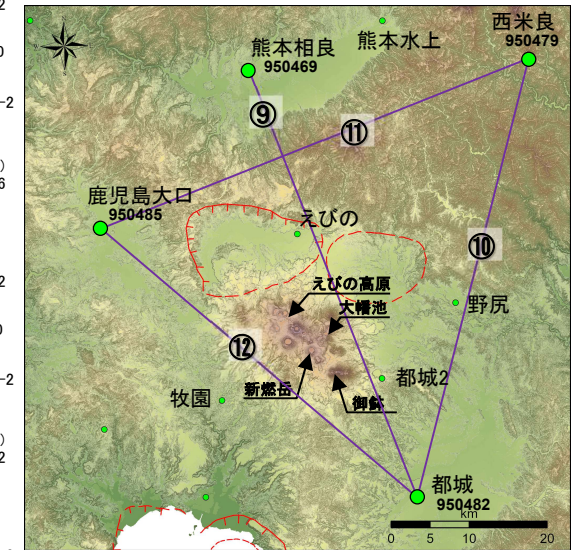
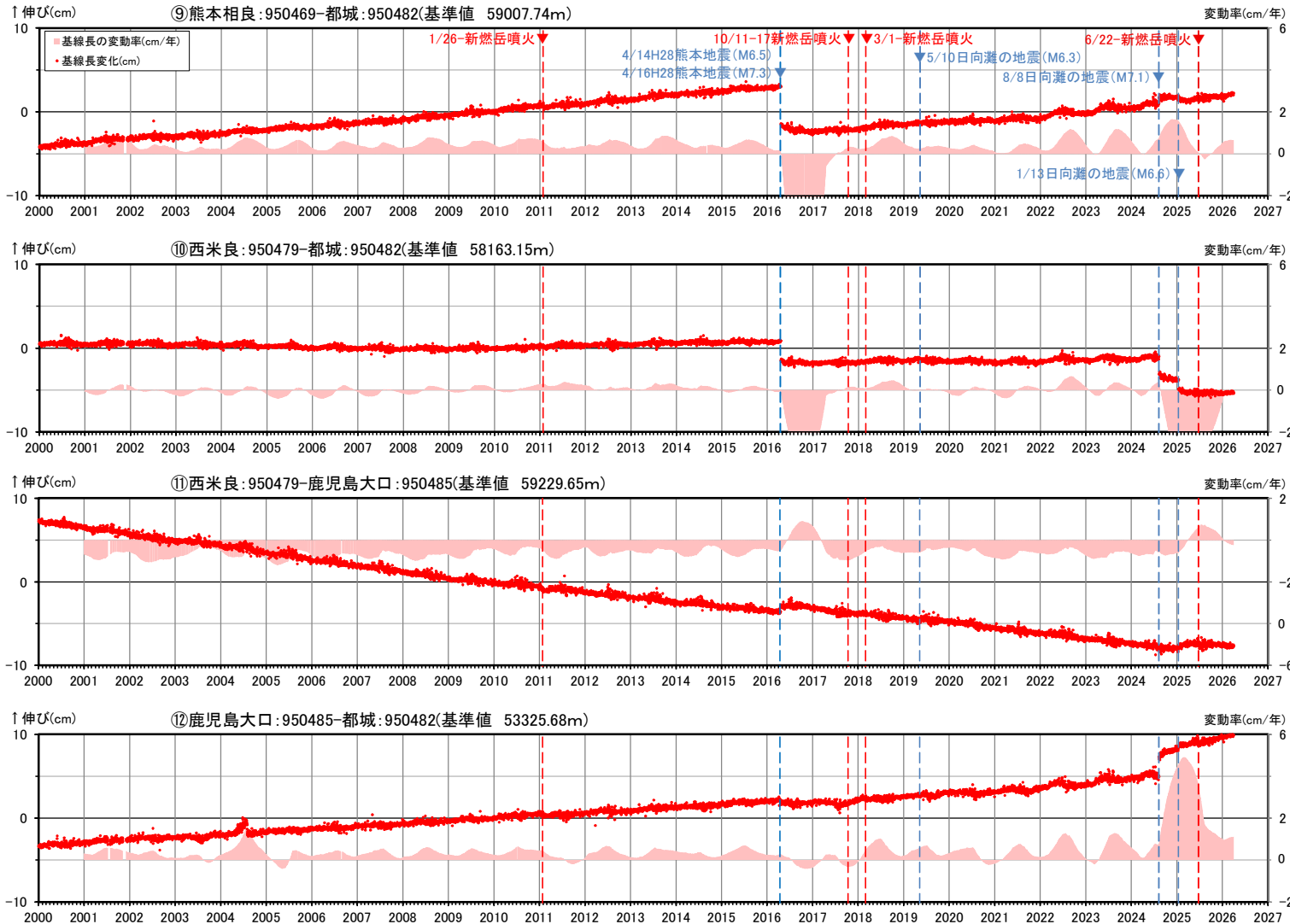
● 国土地理院のGNSS観測点

- ※1 2010年1月1日の基線長を基準値とし、基準値からの変化量を表示
- ※2 変動率は過去1年間のデータを用いて求めた近似式により算出
- ※3 赤色の▼と点線は主な噴火を示す
- ※4 青色の▼と点線は「3. モニタリング評価結果」で地震時による変動を補正した地震を示す

本資料で用いている図面の作成に当たっては、国土地理院基盤地図情報の「基盤地図情報(数値標高モデル)」10mメッシュを使用したものである。

基線⑤～⑧の時系列変化

② 加久藤・小林カルデラ [主な監視項目: 地殻変動・地盤変動(GNSS基線長変化)]



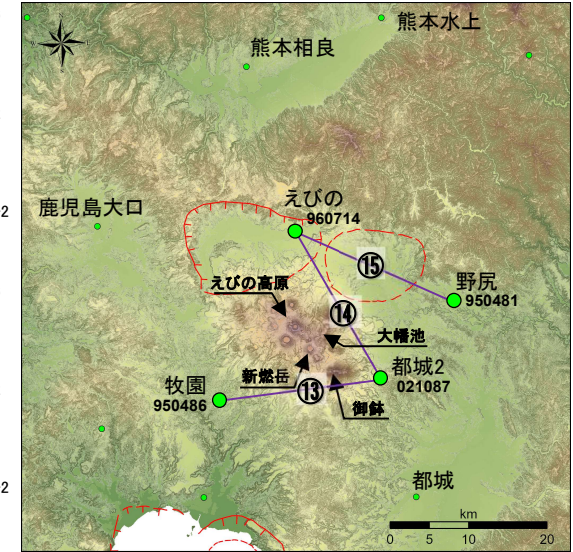
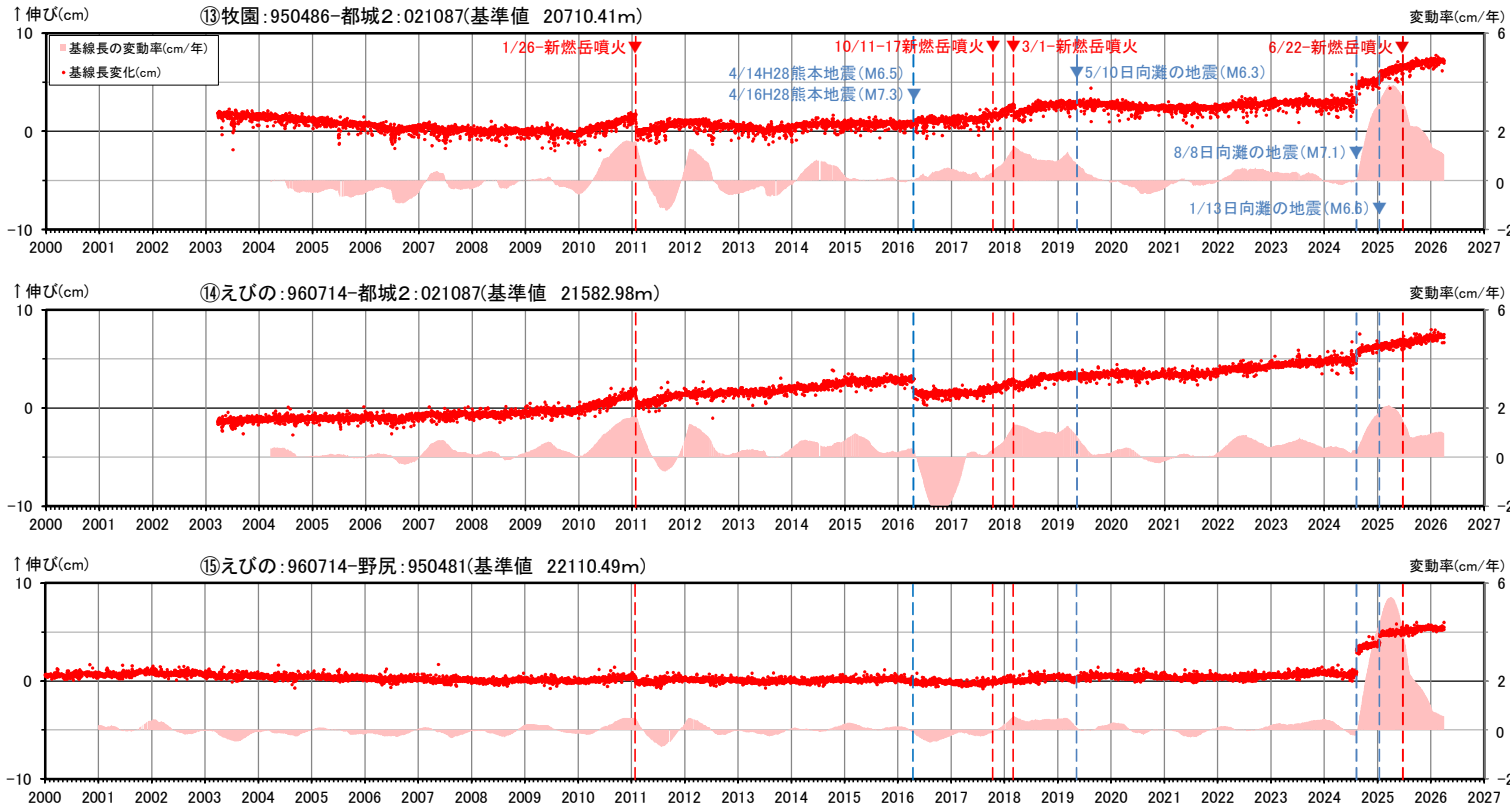
● 国土地理院のGNSS観測点

- ※1 2010年1月1日の基線長を基準値とし、基準値からの変化量を表示
- ※2 変動率は過去1年間のデータを用いて求めた近似式により算出
- ※3 赤色の▼と点線は主な噴火を示す
- ※4 青色の▼と点線は「3. モニタリング評価結果」で地震時による変動を補正した地震を示す

本資料で用いている図面の作成に当たっては、国土地理院基盤地図情報の「基盤地図情報(数値標高モデル)」10mメッシュを使用したものである。

基線⑨～⑫の時系列変化

② 加久藤・小林カルデラ [主な監視項目: 地殻変動・地盤変動(GNSS基線長変化)]



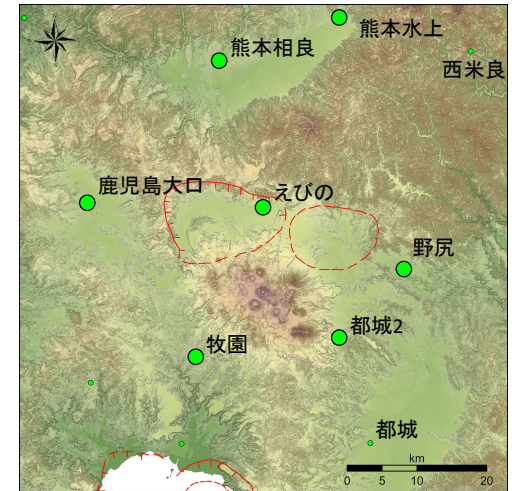
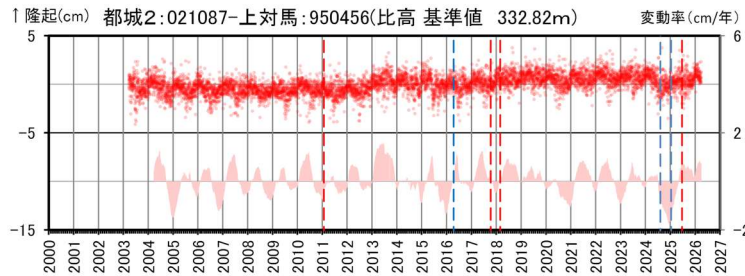
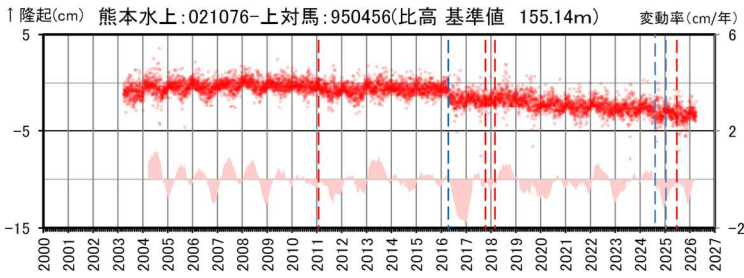
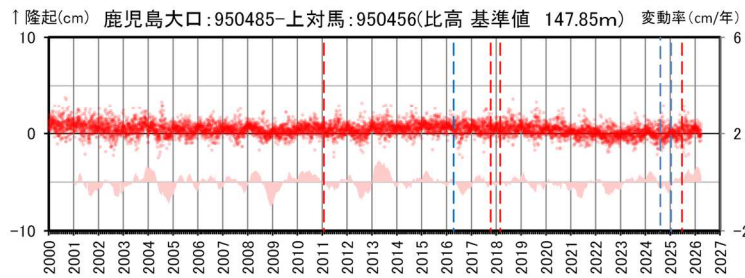
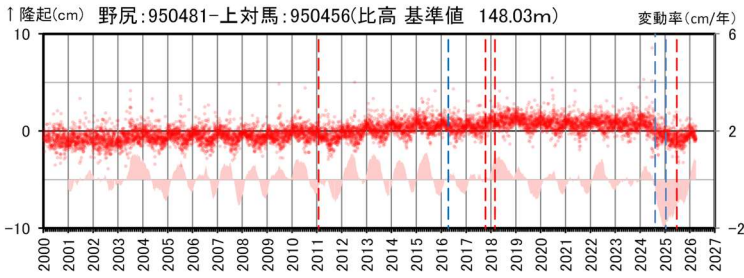
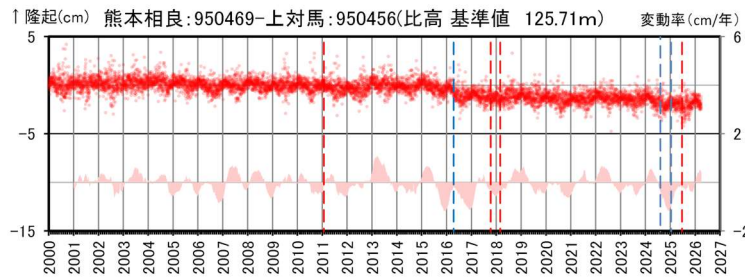
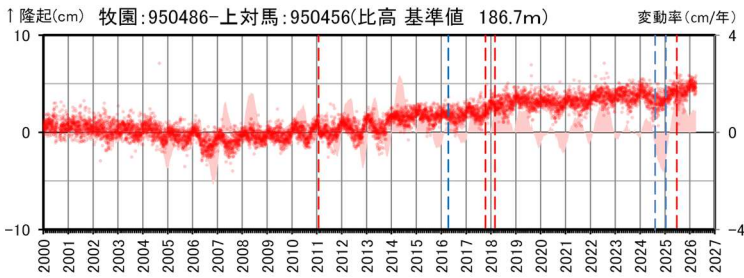
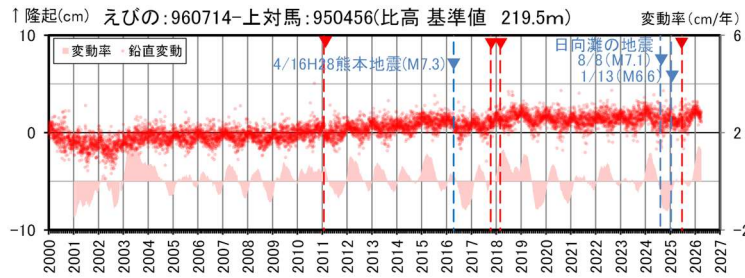
● 国土地理院のGNSS観測点

- ※1 2010年1月1日の基線長を基準値とし、基準値からの変化量を表示
- ※2 変動率は過去1年間のデータを用いて求めた近似式により算出
- ※3 赤色の▼と点線は主な噴火を示す
- ※4 青色の▼と点線は「3. モニタリング評価結果」で地震時による変動を補正した地震を示す

基線⑬～⑮の時系列変化

本資料で用いている図面の作成に当たっては、国土地理院基盤地図情報の「基盤地図情報(数値標高モデル)」10mメッシュを使用したものである。

② 加久藤・小林カルデラ [主な監視項目:地殻変動・地盤変動(GNSS各観測点の鉛直変動)]



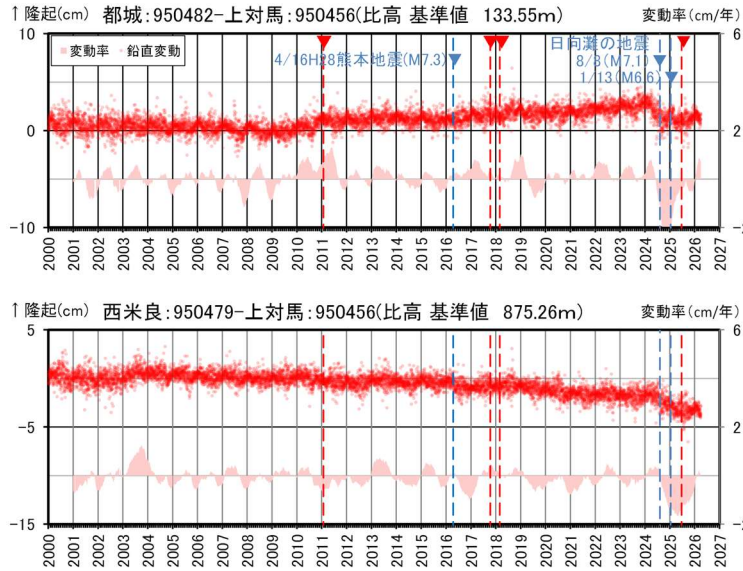
● 国土地理院のGNSS観測点

- ※1 2010年1月1日での950456(上対馬)との比高を基準値とし、基準値からの変化量を表示
- ※2 変動率は過去1年間のデータを用いて求めた近似式により算出
- ※3 赤色の▼と点線は主な噴火を示す
- ※4 青色の▼と点線は「3. モニタリング評価結果」で地震時による変動を補正した地震を示す

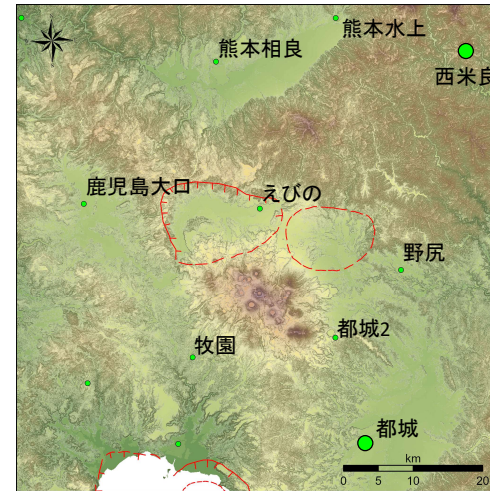
本資料で用いている図面の作成に当たっては、国土地理院基盤地図情報の「基盤地図情報(数値標高モデル)」10mメッシュを使用したものである。

950456(上対馬)を固定点とした比高の時系列変化

② 加久藤・小林カルデラ [主な監視項目:地殻変動・地盤変動(GNSS各観測点の鉛直変動)]



950456(上対馬)を固定点とした比高の時系列変化

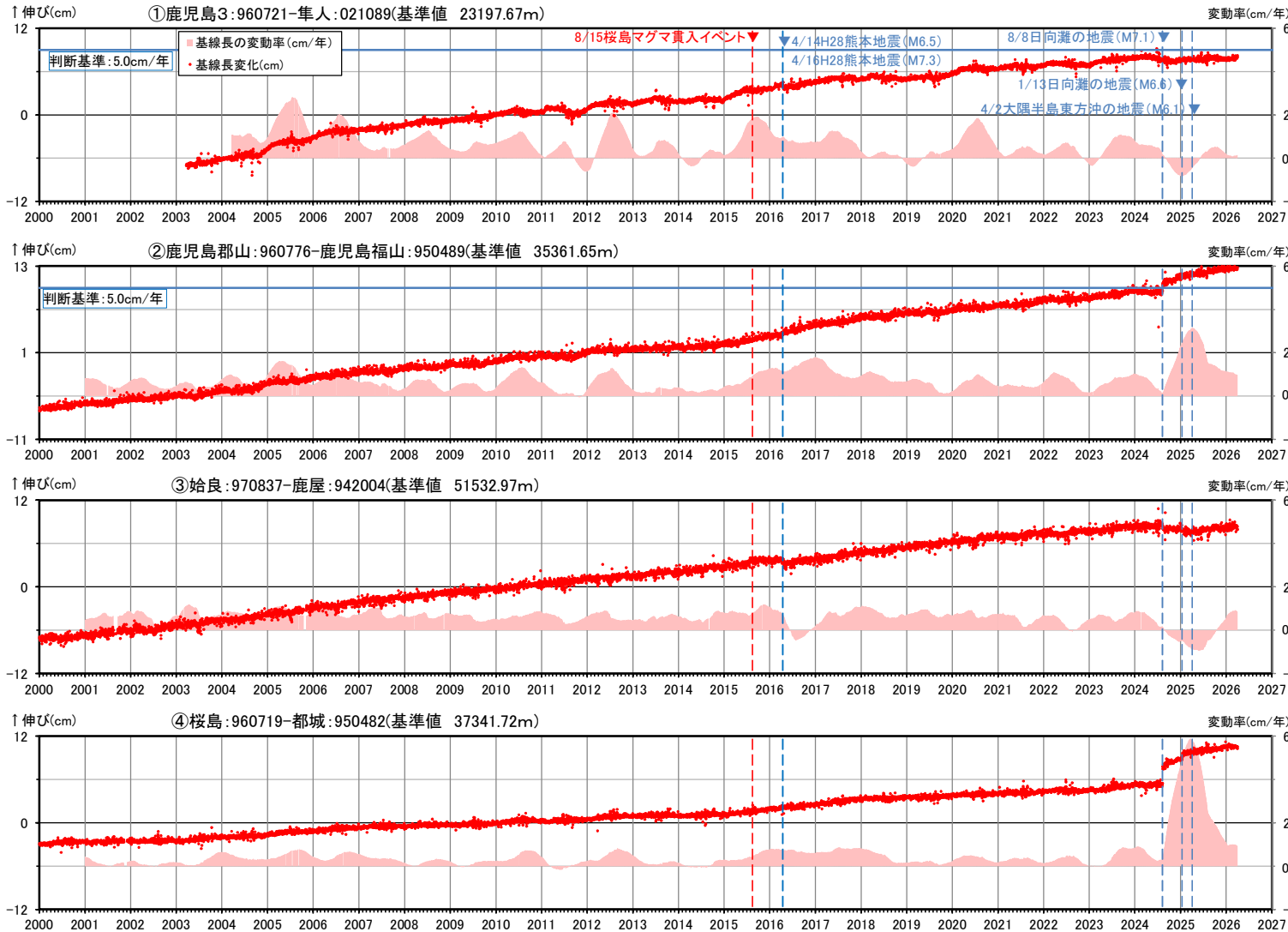


● 国土地理院のGNSS観測点

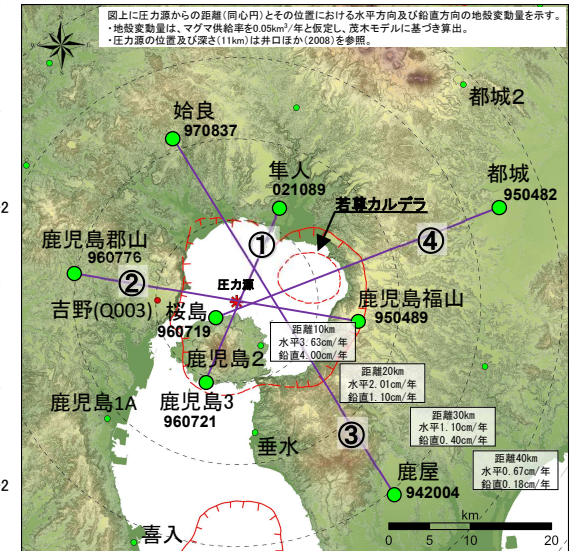
- ※1 2010年1月1日での950456(上対馬)との比高を基準値とし、基準値からの変化量を表示
- ※2 変動率は過去1年間のデータを用いて求めた近似式により算出
- ※3 赤色の▼と点線は主な噴火を示す
- ※4 青色の▼と点線は「3. モニタリング評価結果」で地震時による変動を補正した地震を示す

本資料で用いている図面の作成に当たっては、国土地理院基盤地図情報の「基盤地図情報(数値標高モデル)」10mメッシュを使用したものである。

③ 始良カルデラ [主な監視項目:地殻変動・地盤変動(GNSS基線長変化)]



基線①~④の時系列変化

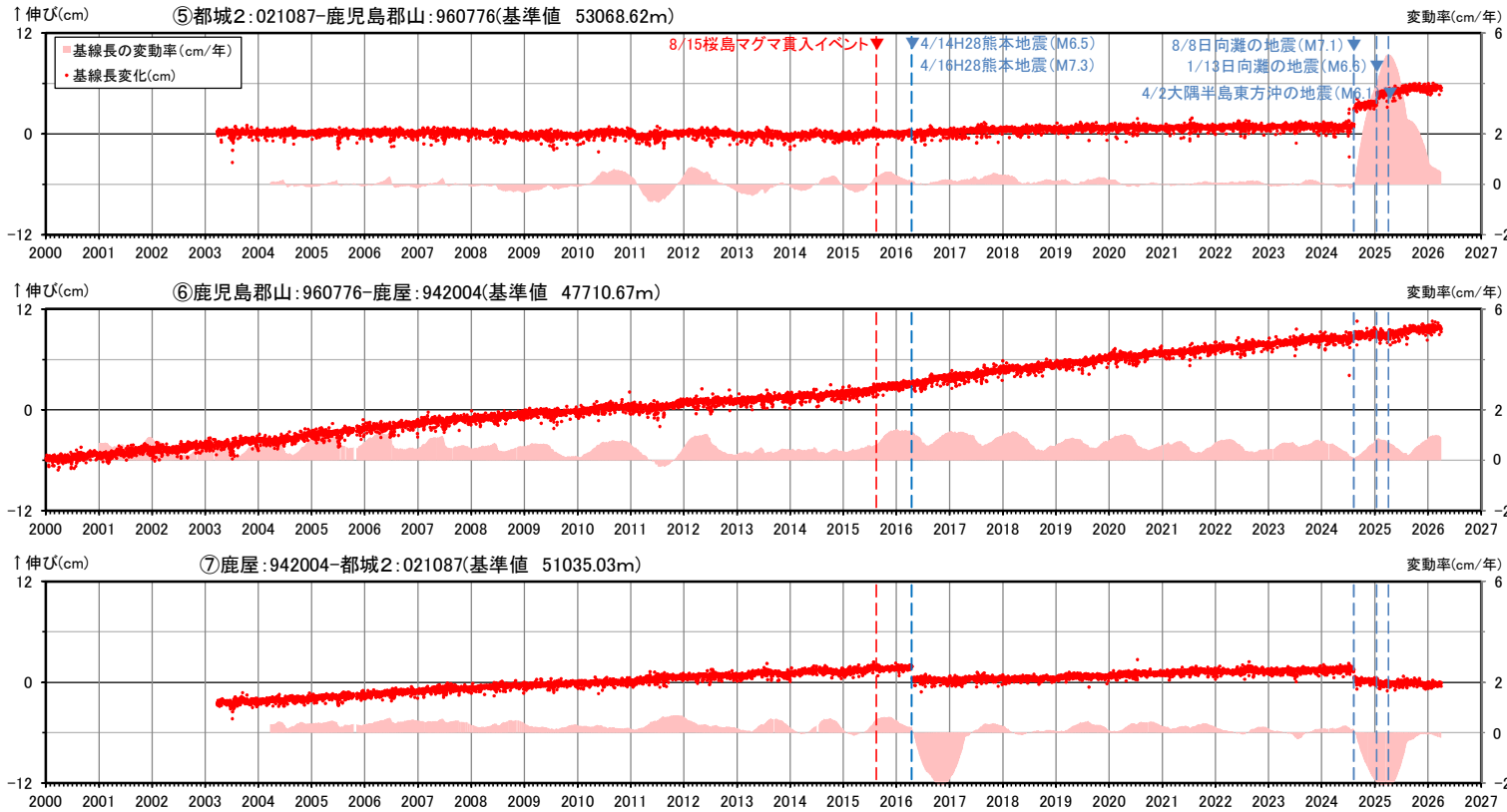


- 国土地理院のGNSS観測点
- 九州電力のGNSS観測点

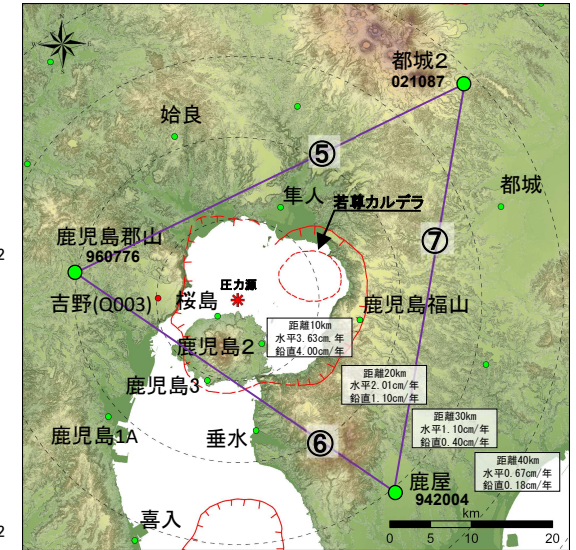
- ※1 2010年1月1日の基線長を基準値とし、基準値からの変化量を表示
- ※2 変動率は過去1年間のデータを用いて求めた近似式により算出
- ※3 赤色の▼は桜島の活動に関する公表された主なイベントを示す
- ※4 青色の▼と点線は「3. モニタリング評価結果」で地震時による変動を補正した地震を示す

本資料で用いている図面の作成に当たっては、国土地理院基盤地図情報の「基盤地図情報(数値標高モデル)」10mメッシュを使用したものである。

③ 始良カルデラ [主な監視項目: 地殻変動・地盤変動(GNSS基線長変化)]



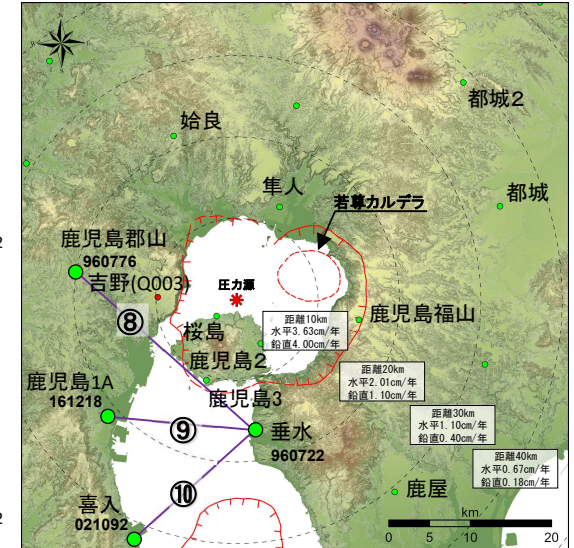
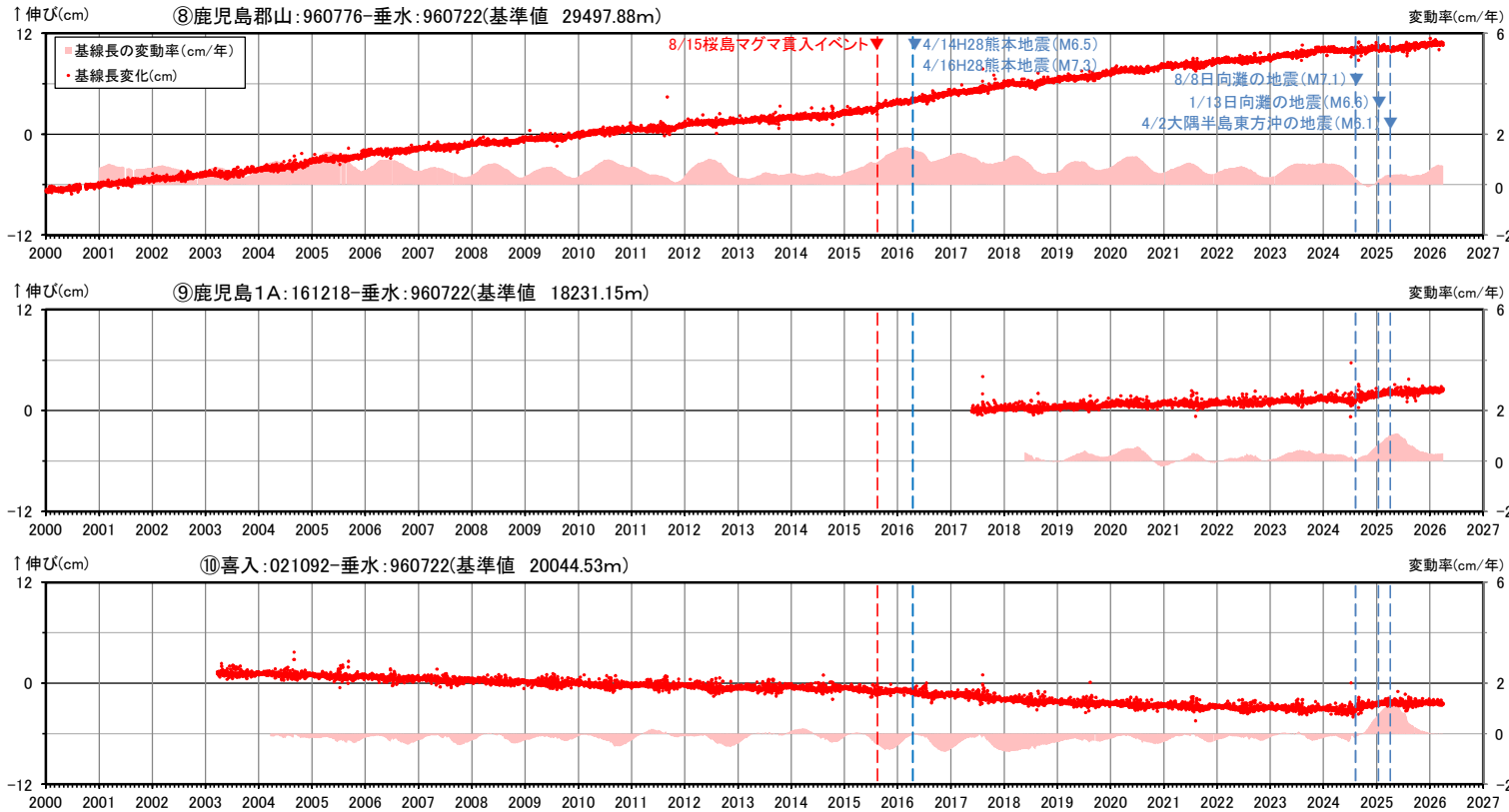
基線⑤～⑦の時系列変化



- 国土地理院のGNSS観測点
- 九州電力のGNSS観測点
- ※1 2010年1月1日の基線長を基準値とし、基準値からの変化量を表示
- ※2 変動率は過去1年間のデータを用いて求めた近似式により算出
- ※3 赤色の▼は桜島の活動に関する公表された主なイベントを示す
- ※4 青色の▼と点線は「3. モニタリング評価結果」で地震時による変動を補正した地震を示す

本資料で用いている図面の作成に当たっては、国土地理院基盤地図情報の「基盤地図情報(数値標高モデル)」10mメッシュを使用したものである。

③ 始良カルデラ [主な監視項目:地殻変動・地盤変動(GNSS基線長変化)]

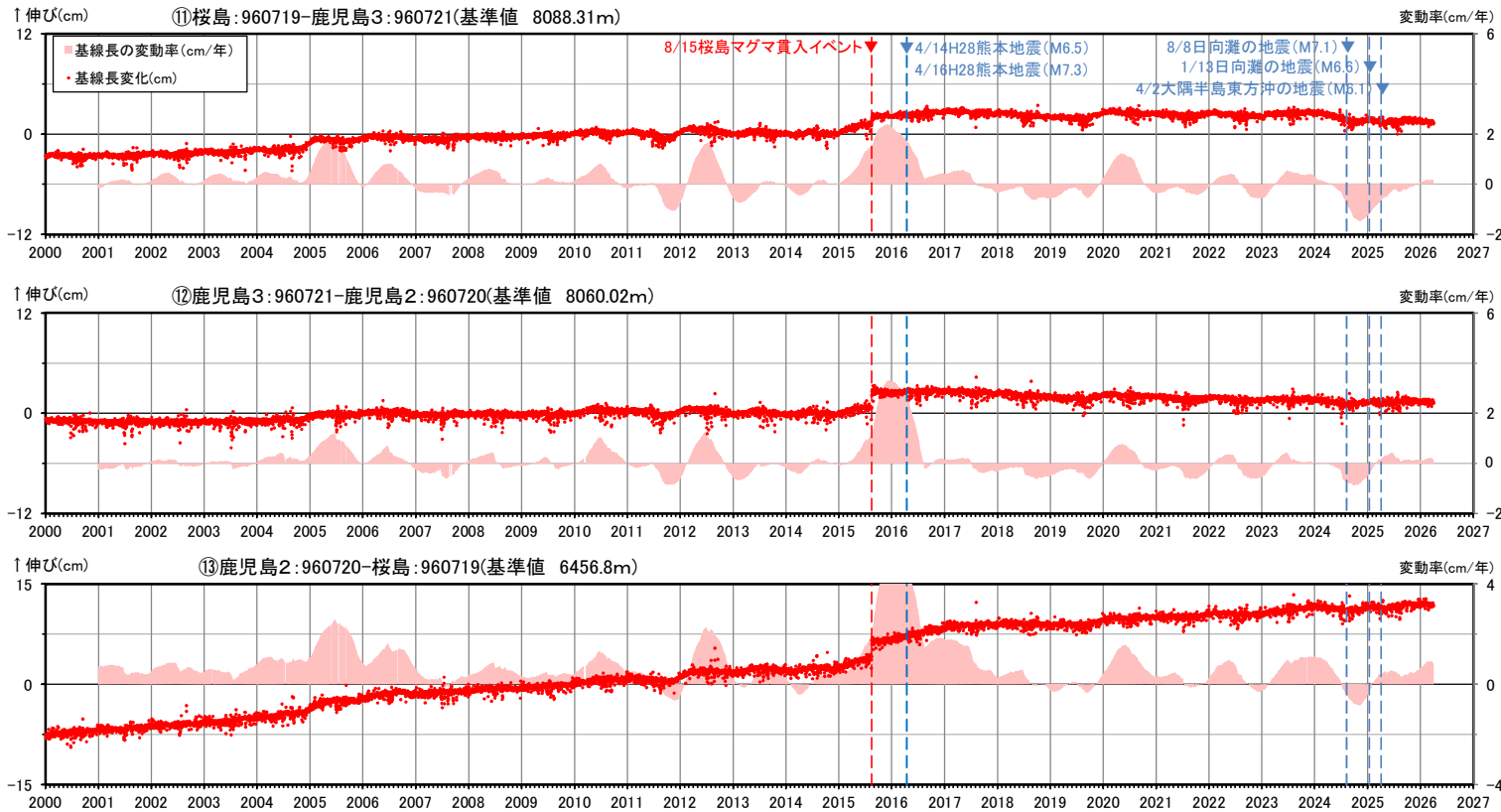


- 国土地理院のGNSS観測点
- 九州電力のGNSS観測点
- ※1 2010年1月1日の基線長を基準値とし、基準値からの変化量を表示。基線⑨は2017年5月24日を基準日としている。
- ※2 変動率は過去1年間のデータを用いて求めた近似式により算出
- ※3 赤色の▼は桜島の活動に関する公表された主なイベントを示す
- ※4 青色の▼と点線は「3. モニタリング評価結果」で地震時による変動を補正した地震を示す

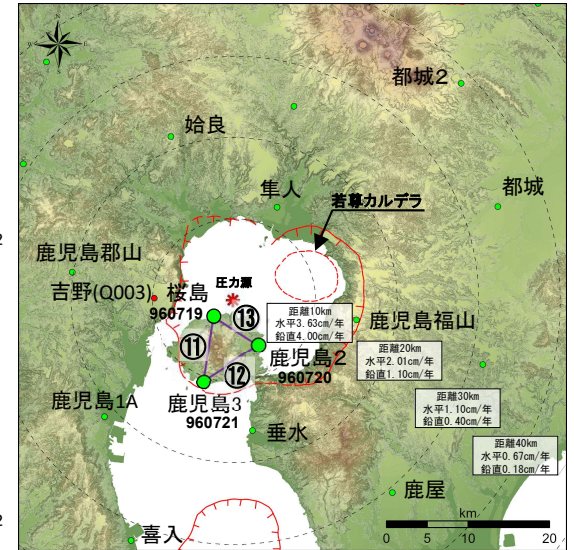
基線⑧～⑩の時系列変化

本資料で用いている図面の作成に当たっては、国土地理院基盤地図情報の「基盤地図情報(数値標高モデル)」10mメッシュを使用したものである。

③ 始良カルデラ [主な監視項目:地殻変動・地盤変動(GNSS基線長変化)]



基線⑪～⑬の時系列変化

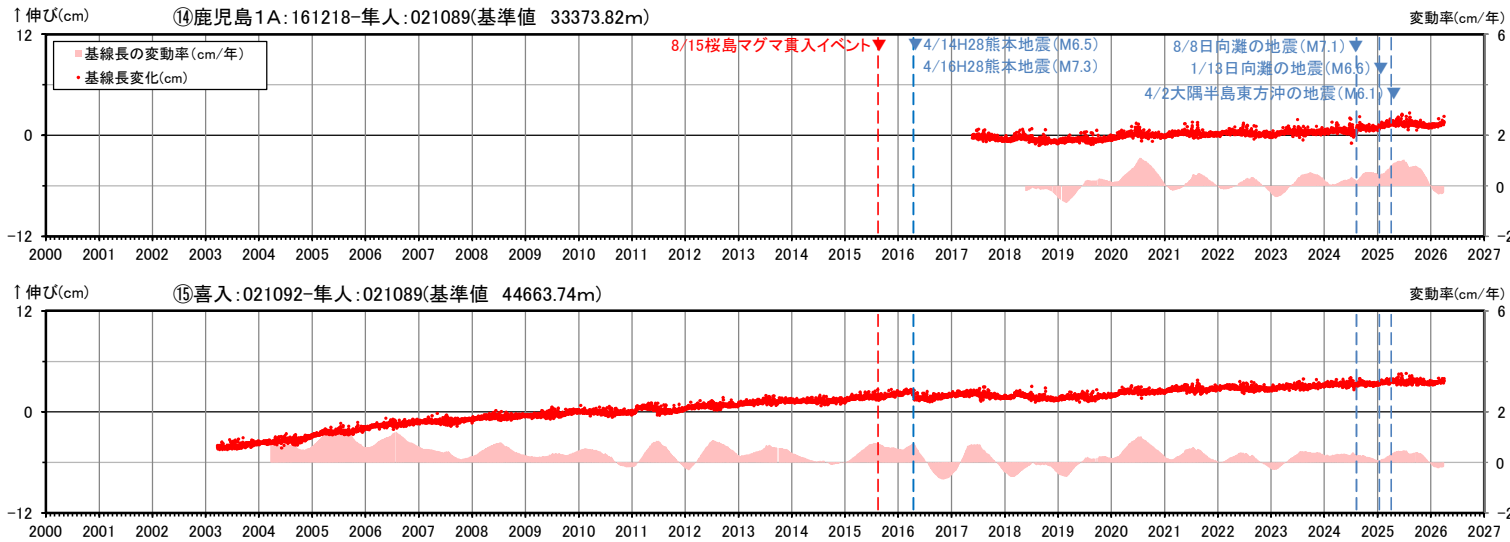


- 国土地理院のGNSS観測点
- 九州電力のGNSS観測点

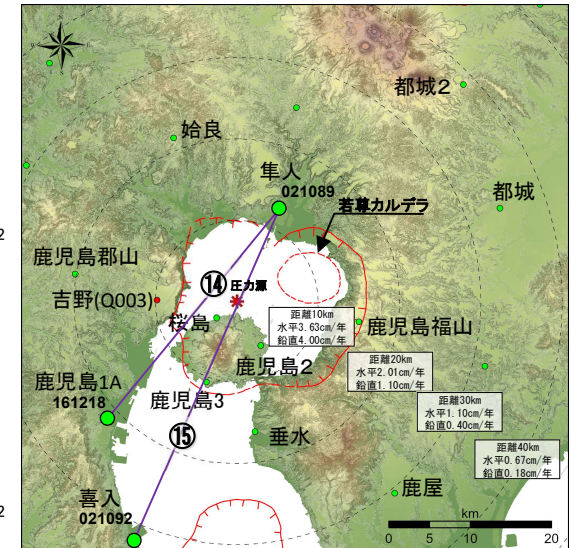
- ※1 2010年1月1日の基線長を基準値とし、基準値からの変化量を表示
- ※2 変動率は過去1年間のデータを用いて求めた近似式により算出
- ※3 赤色の▼は桜島の活動に関する公表された主なイベントを示す
- ※4 青色の▼と点線は「3. モニタリング評価結果」で地震時による変動を補正した地震を示す

本資料で用いている図面の作成に当たっては、国土地理院基盤地図情報の「基盤地図情報(数値標高モデル)」10mメッシュを使用したものである。

③ 始良カルデラ [主な監視項目: 地殻変動・地盤変動(GNSS基線長変化)]



基線⑭、⑮の時系列変化

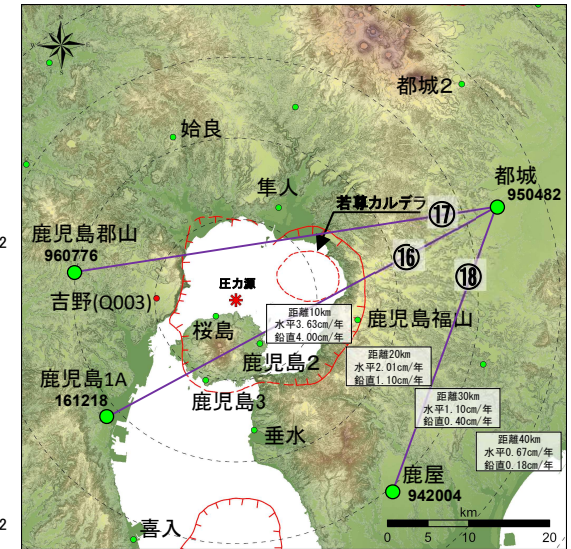
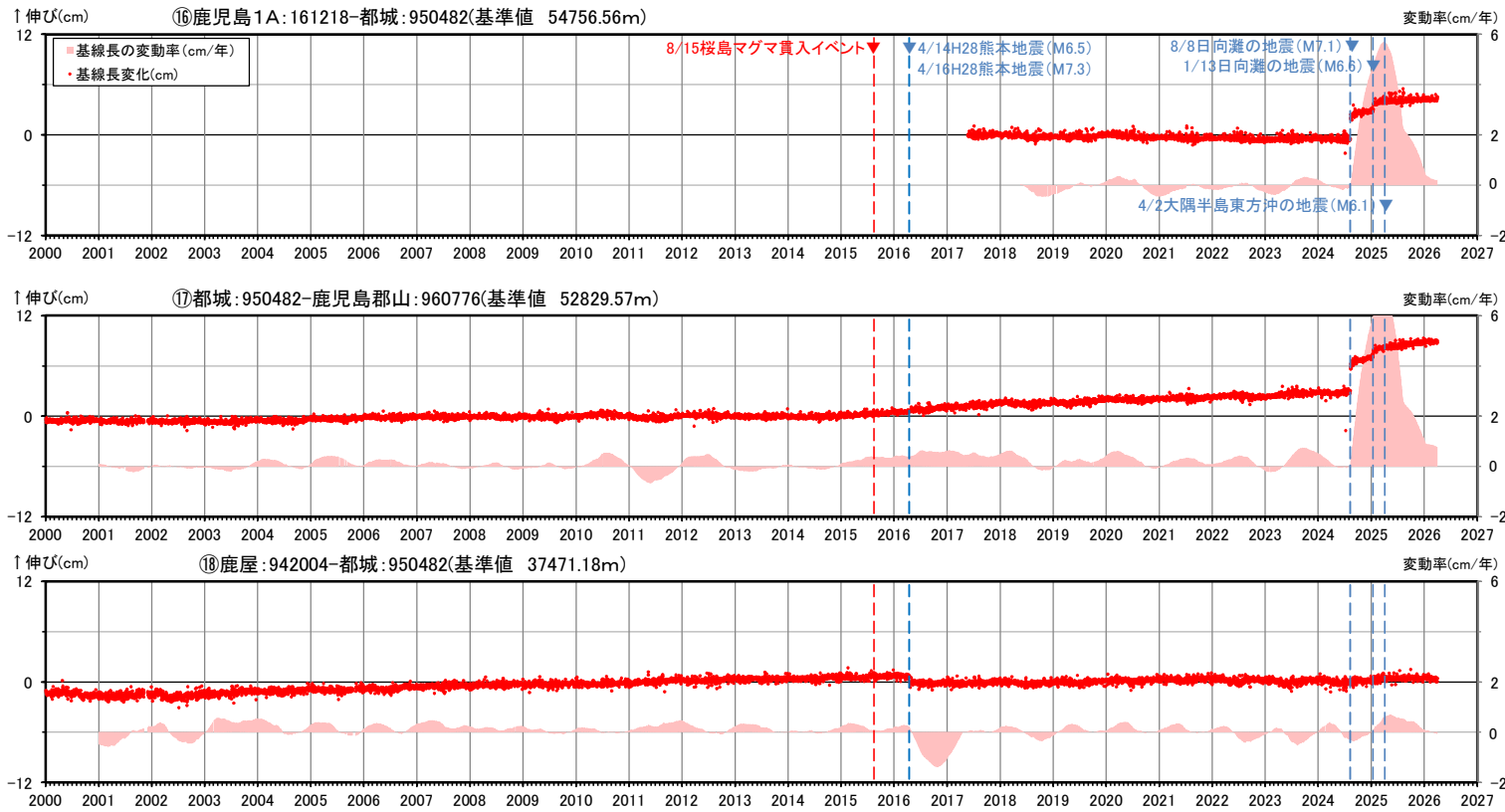


- 国土地理院のGNSS観測点
- 九州電力のGNSS観測点

- ※1 2010年1月1日の基線長を基準値とし、基準値からの変化量を表示。基線⑭は2017年5月24日を基準日としている。
- ※2 変動率は過去1年間のデータを用いて求めた近似値により算出
- ※3 赤色の▼は桜島の活動に関する公表された主なイベントを示す
- ※4 青色の▼と点線は「3. モニタリング評価結果」で地震時による変動を補正した地震を示す

本資料で用いている図面の作成に当たっては、国土地理院基盤地図情報の「基盤地図情報(数値標高モデル)」10mメッシュを使用したものである。

③ 始良カルデラ [主な監視項目: 地殻変動・地盤変動(GNSS基線長変化)]

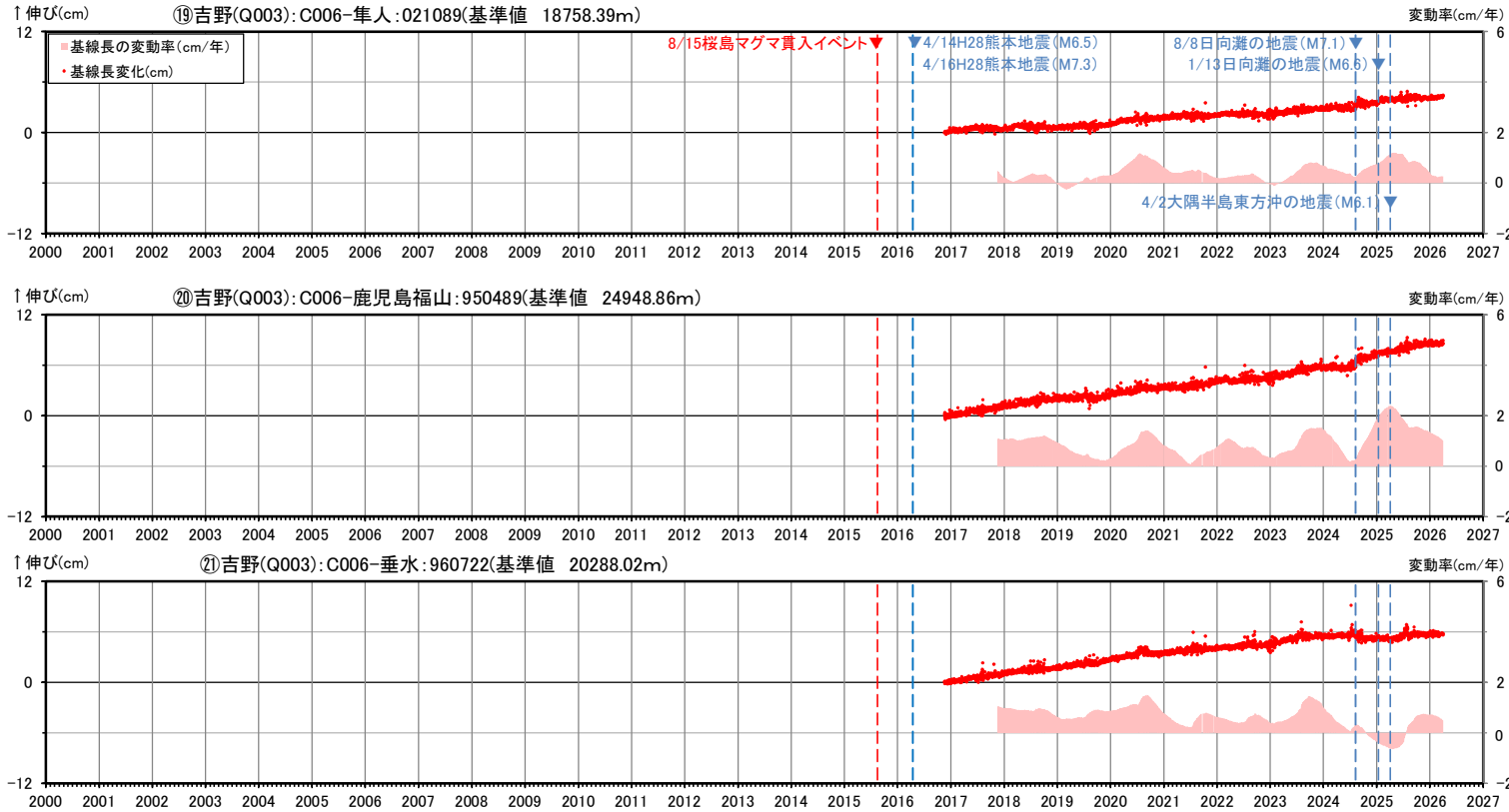


- ※1 2010年1月1日の基線長を基準値とし、基準値からの変化量を表示。基線⑮は2017年5月24日を基準日としている。
- ※2 変動率は過去1年間のデータを用いて求めた近似式により算出
- ※3 赤色の▼は桜島の活動に関する公表された主なイベントを示す
- ※4 青色の▼と点線は「3. モニタリング評価結果」で地震時による変動を補正した地震を示す

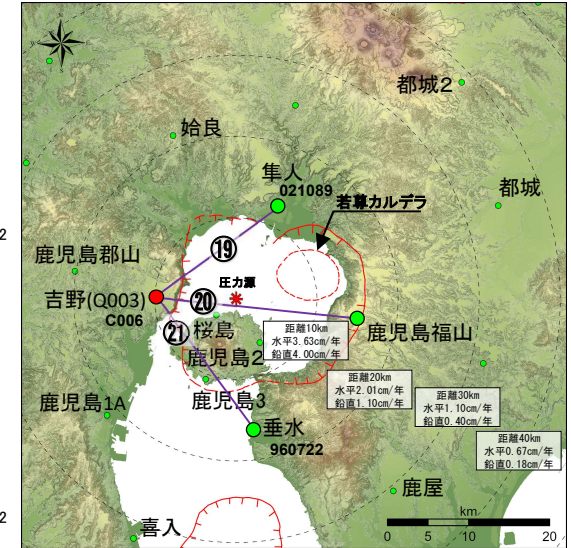
本資料で用いている図面の作成に当たっては、国土地理院基盤地図情報の「基盤地図情報(数値標高モデル)」10mメッシュを使用したものである。

基線⑬～⑮の時系列変化

③ 始良カルデラ [主な監視項目:地殻変動・地盤変動(GNSS基線長変化)]



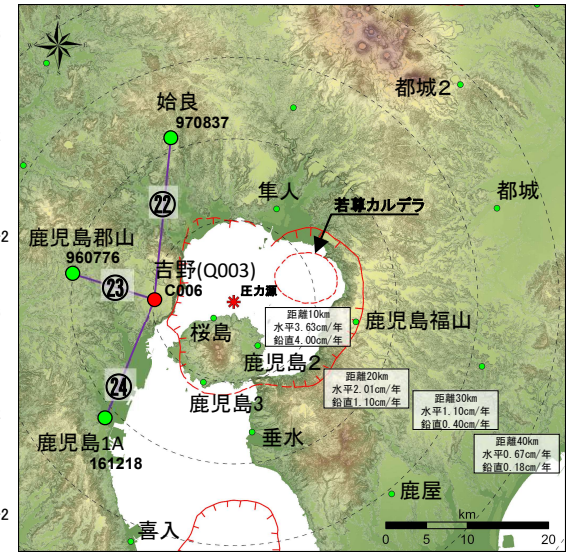
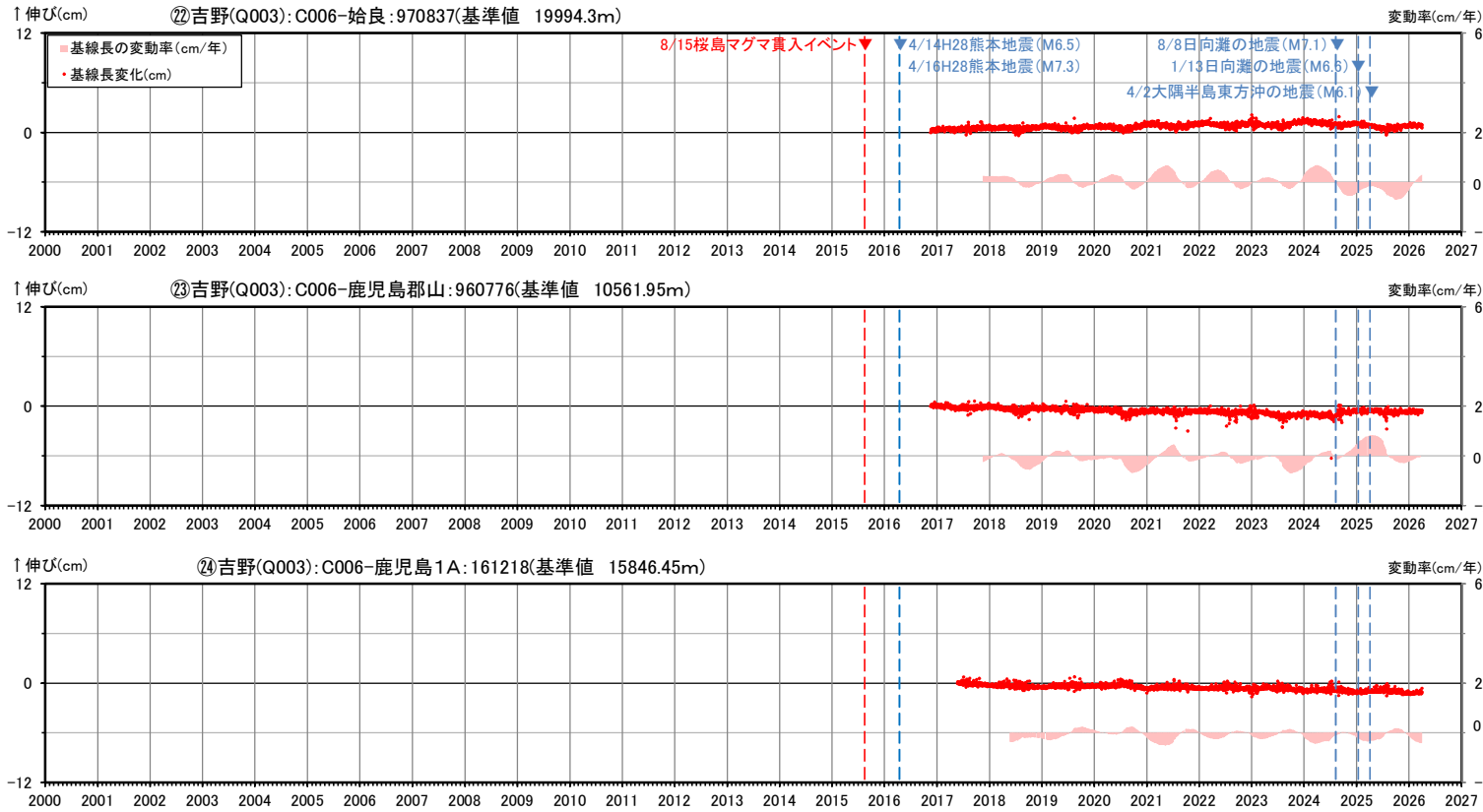
基線⑱～㉑の時系列変化



- 国土地理院のGNSS観測点
- 九州電力のGNSS観測点
- ※1 2016年11月17日を基準値とし、基準値からの変化量を表示
- ※2 変動率は過去1年間のデータを用いて求めた近似値により算出
- ※3 赤色の▼は桜島の活動に関する公表された主なイベントを示す
- ※4 青色の▼と点線は「3. モニタリング評価結果」で地震時による変動を補正した地震を示す

本資料で用いている図面の作成に当たっては、国土地理院基盤地図情報の「基盤地図情報(数値標高モデル)」10mメッシュを使用したものである。

③ 始良カルデラ [主な監視項目:地殻変動・地盤変動(GNSS基線長変化)]

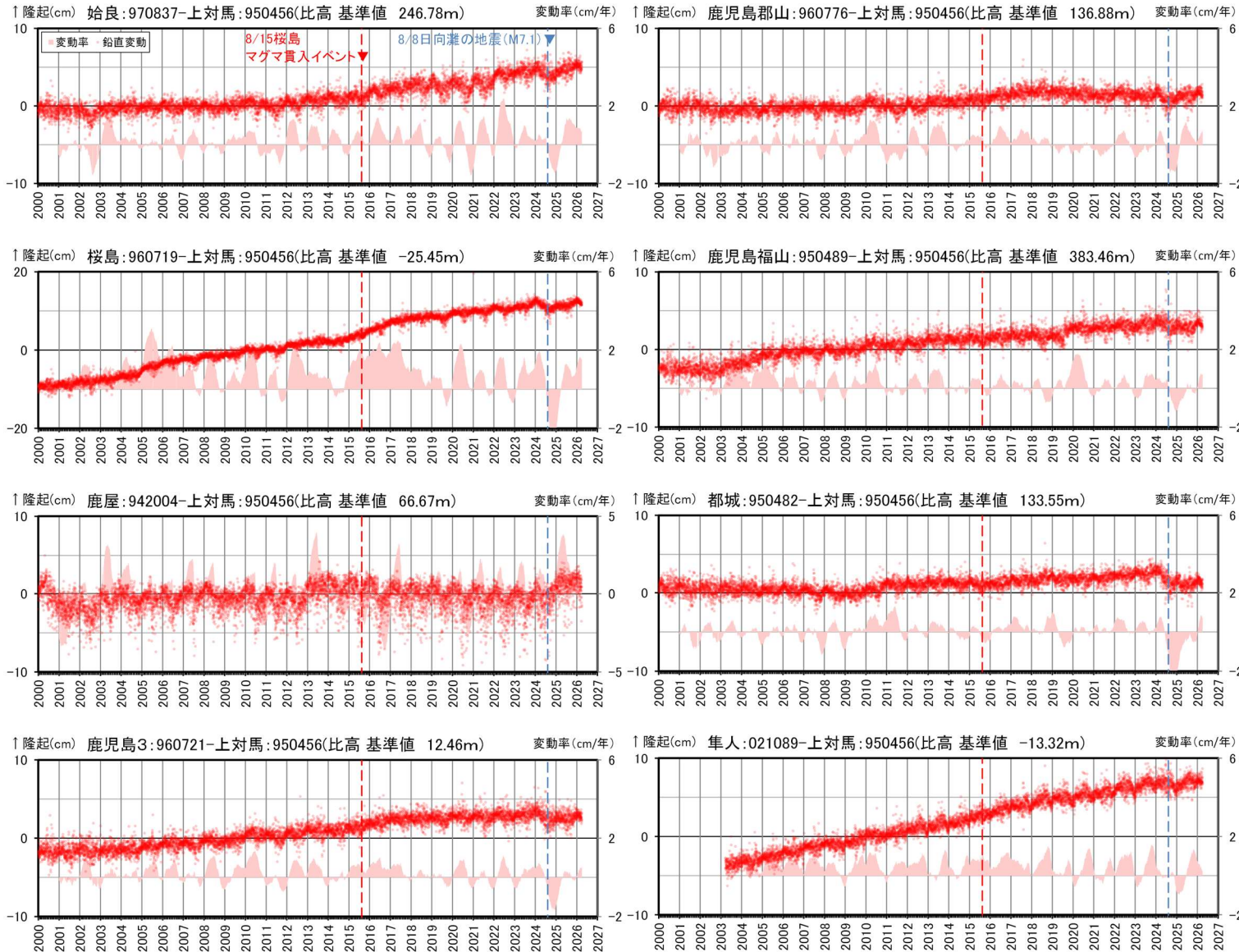


- 国土地理院のGNSS観測点
- 九州電力のGNSS観測点
- ※1 2016年11月17日を基準値とし、基準値からの変化量を表示。基線②は2017年5月24日を基準日としている。
- ※2 変動率は過去1年間のデータを用いて求めた近似式により算出
- ※3 赤色の▼は桜島の活動に関する公表された主なイベントを示す
- ※4 青色の▼と点線は「3. モニタリング評価結果」で地震時による変動を補正した地震を示す

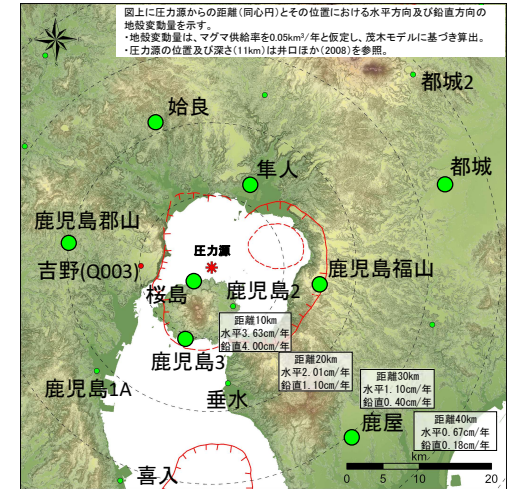
基線②～④の時系列変化

本資料で用いている図面の作成に当たっては、国土地理院基盤地図情報の「基盤地図情報(数値標高モデル)」10mメッシュを使用したものである。

③ 始良カルデラ [主な監視項目: 地殻変動・地盤変動(GNSS各観測点の鉛直変動)]



950456(上対馬)を固定点とした比高の時系列変化

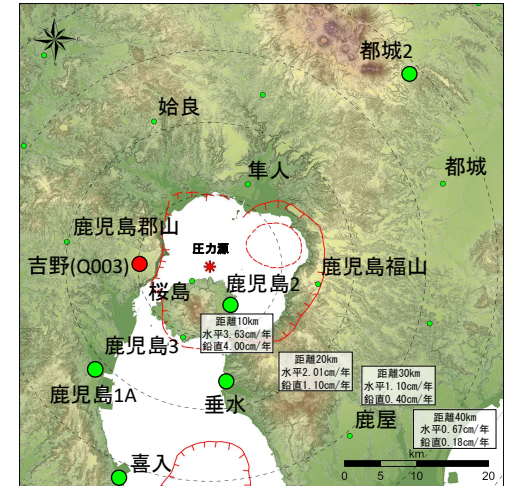
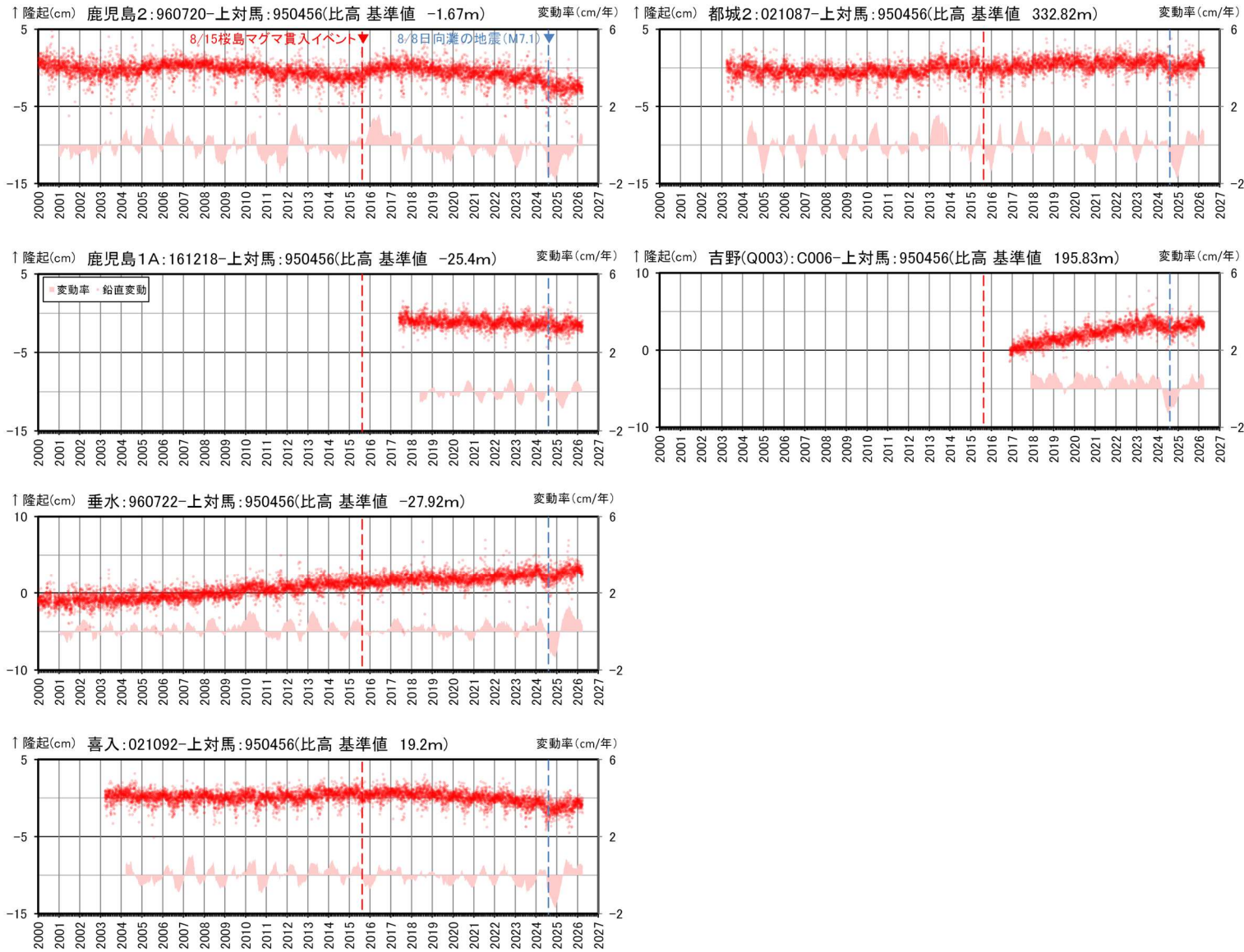


- 国土地理院のGNSS観測点
- 九州電力のGNSS観測点

- ※1 2010年1月1日での950456(上対馬)との比高を基準値とし、基準値からの変化量を表示
- ※2 変動率は過去1年間のデータを用いて求めた近似式により算出
- ※3 赤色の▼は桜島の活動に関する公表された主なイベントを示す
- ※4 青色の▼と点線は「3. モニタリング評価結果」で地震時による変動を補正した地震を示す

本資料で用いている図面の作成に当たっては、国土地理院基盤地図情報の「基盤地図情報(数値標高モデル)」10mメッシュを使用したものである。

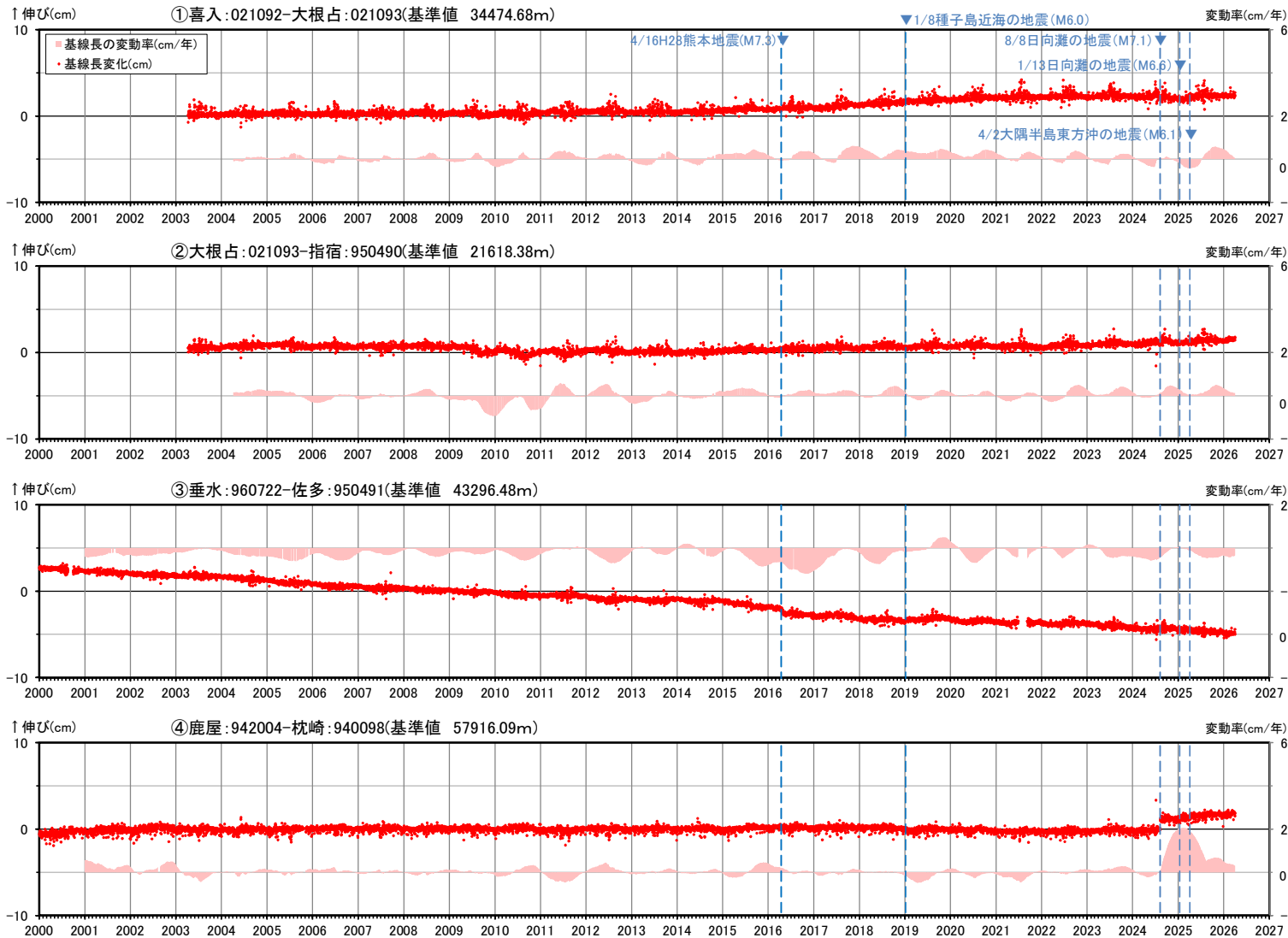
③ 始良カルデラ [主な監視項目: 地殻変動・地盤変動(GNSS各観測点の鉛直変動)]



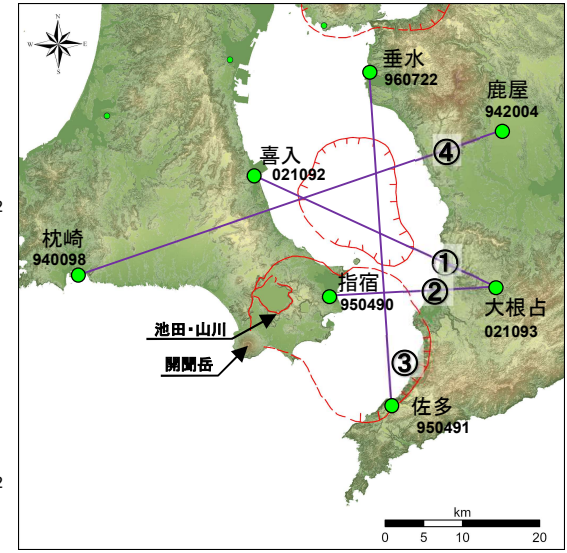
- ※1 鹿児島1Aは2017年5月24日、吉野(Q003)は2016年11月17日、それ以外の観測点は2010年1月1日での950456(上対馬)との比高を基準値とし、基準値からの変化量を表示
- ※2 変動率は過去1年間のデータを用いて求めた近似式により算出
- ※3 赤色の▼は桜島の活動に関する公表された主なイベントを示す
- ※4 青色の▼と点線は「3. モニタリング評価結果」で地震時による変動を補正した地震を示す

本資料で用いている図面の作成に当たっては、国土地理院基盤地図情報の「基盤地図情報(数値標高モデル)」10mメッシュを使用したものである。

④ 阿多カルデラ [主な監視項目:地殻変動・地盤変動(GNSS基線長変化)]



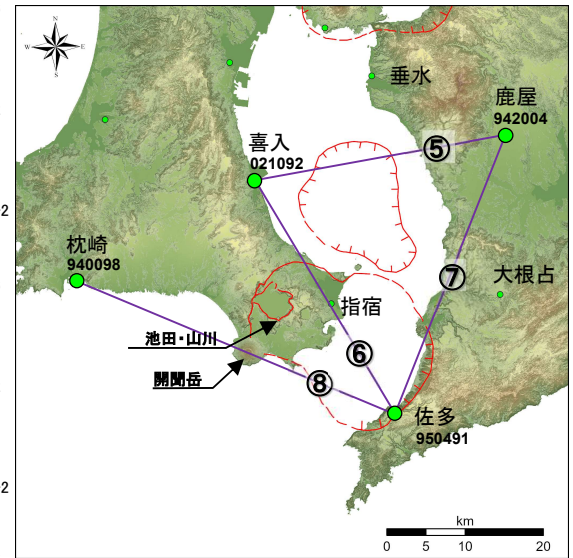
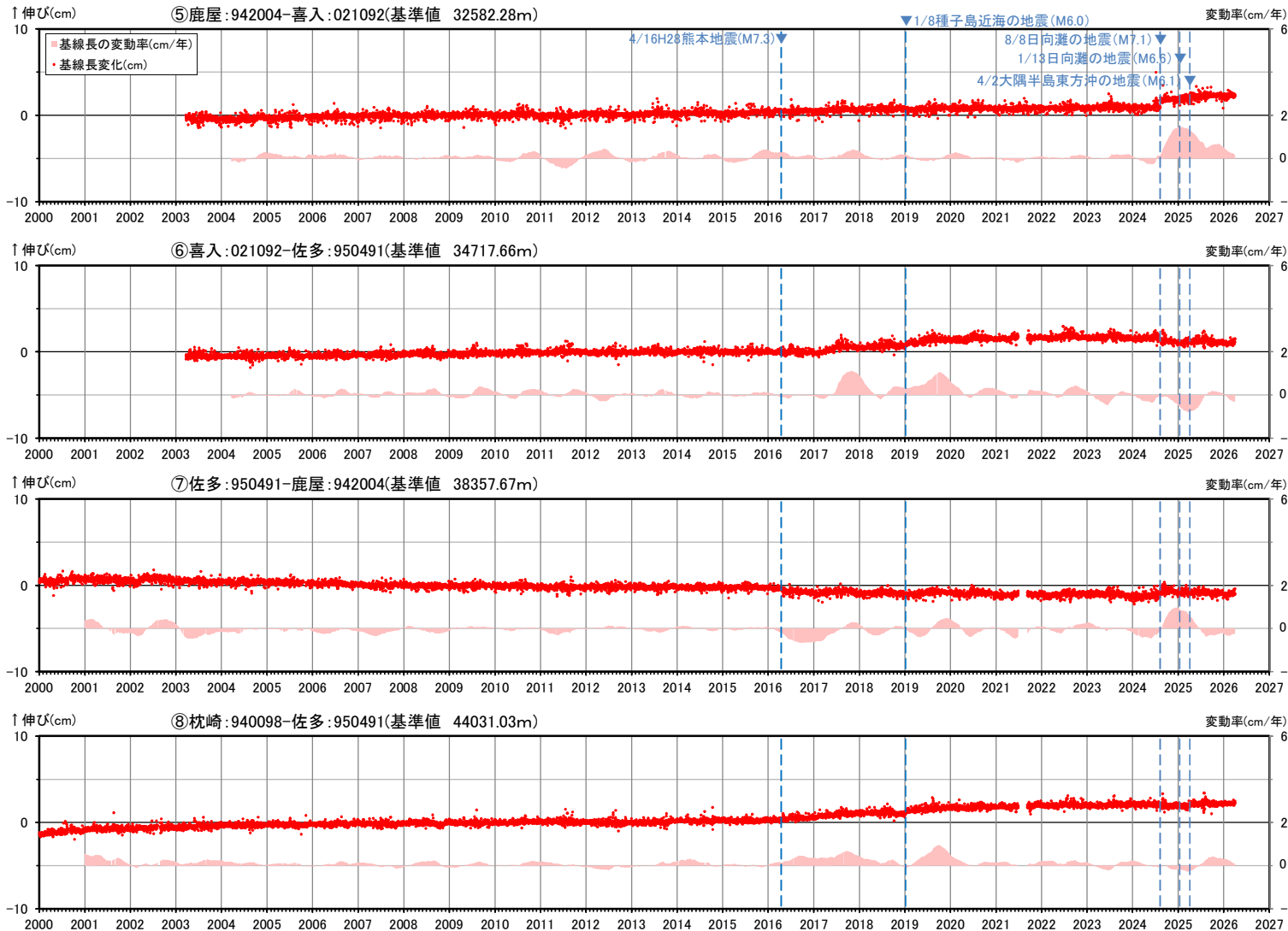
基線①～④の時系列変化



- 国土地理院のGNSS観測点
- ※1 2010年1月1日の基線長を基準値とし、基準値からの変化量を表示
- ※2 変動率は過去1年間のデータを用いて求めた近似式により算出
- ※3 950491(佐多)は、2021年6月27日以降データの公開が停止したが、9月8日からデータの公開を再開
- ※4 青色の▼と点線は「3. モニタリング評価結果」で地震時による変動を補正した地震を示す

本資料で用いている図面の作成に当たっては、国土地理院基盤地図情報の「基盤地図情報(数値標高モデル)」10mメッシュを使用したものである。

④ 阿多カルデラ [主な監視項目: 地殻変動・地盤変動(GNSS基線長変化)]

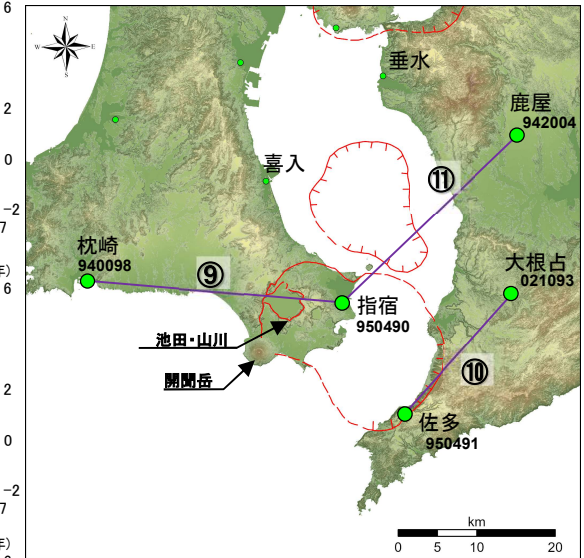
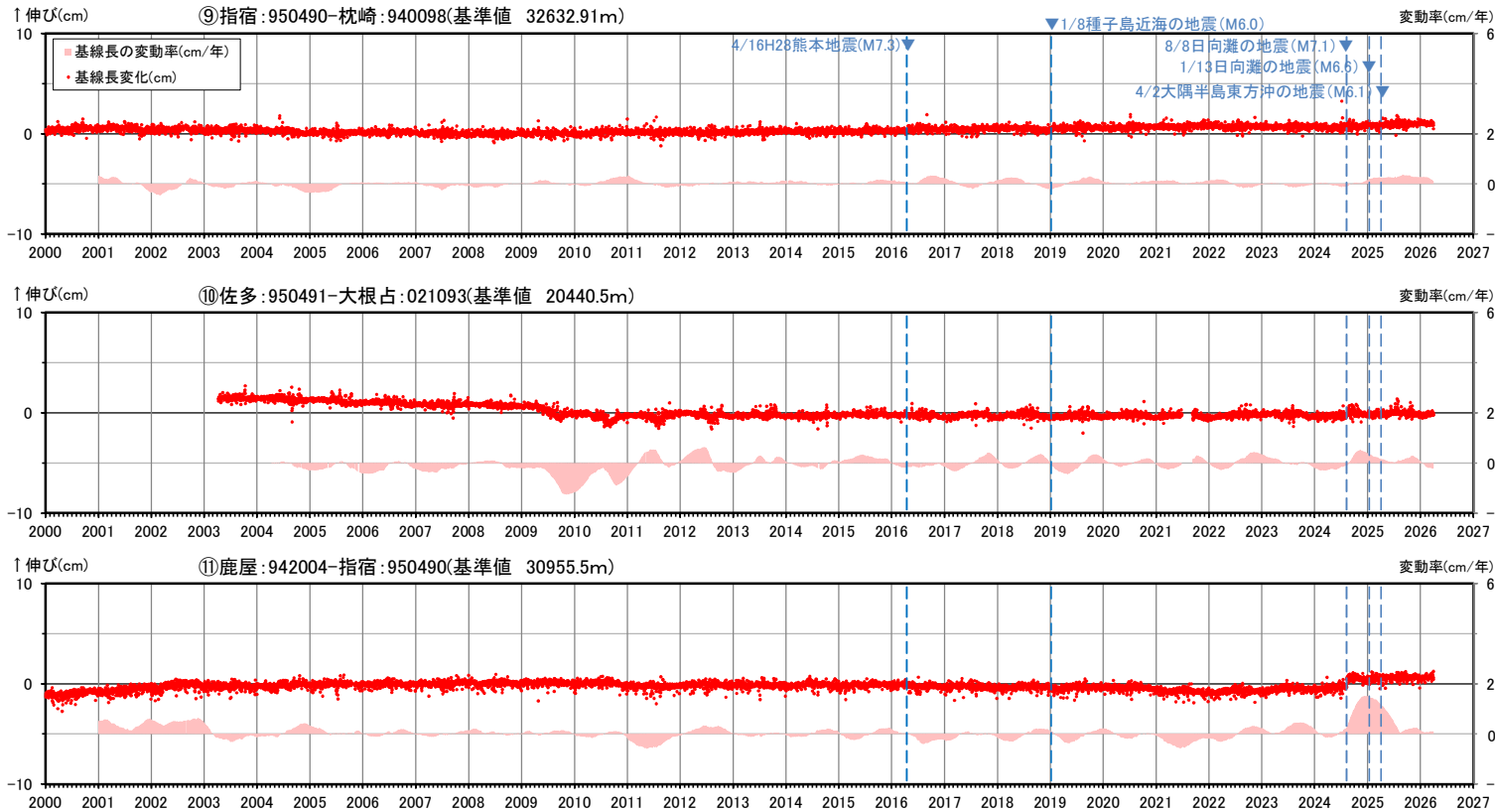


- 国土地理院のGNSS観測点
- ※1 2010年1月1日の基線長を基準値とし、基準値からの変化量を表示
- ※2 変動率は過去1年間のデータを用いて求めた近似式により算出
- ※3 950491(佐多)は、2021年6月27日以降データの公開が停止したが、9月8日からデータの公開を再開
- ※4 青色の▼と点線は「3. モニタリング評価結果」で地震時による変動を補正した地震を示す

本資料で用いている図面の作成に当たっては、国土地理院基盤地図情報の「基盤地図情報(数値標高モデル)」10mメッシュを使用したものである。

基線⑤～⑧の時系列変化

④ 阿多カルデラ [主な監視項目: 地殻変動・地盤変動(GNSS基線長変化)]

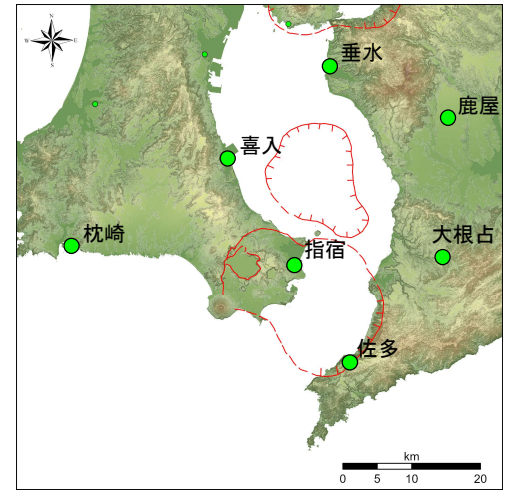
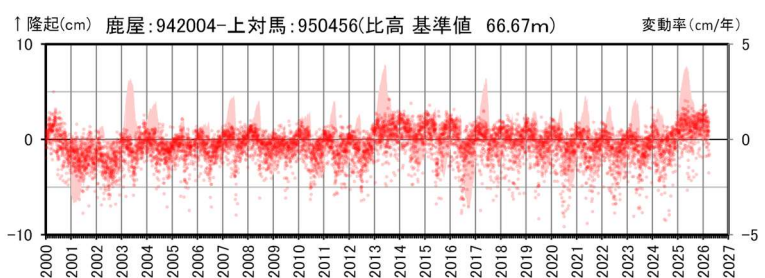
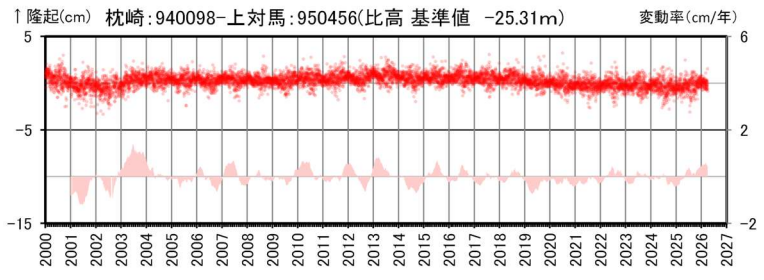
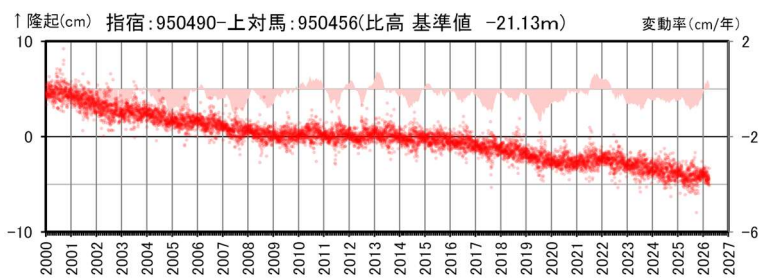
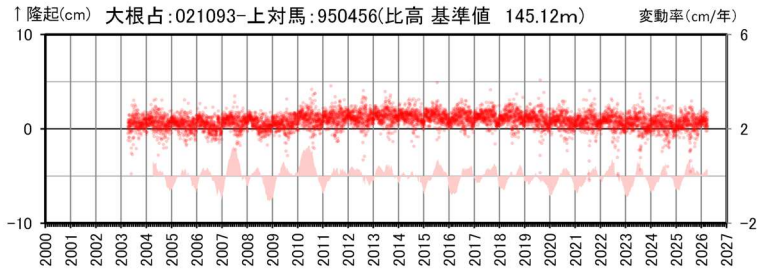
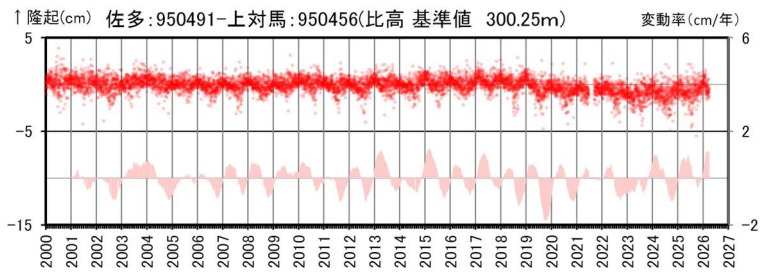
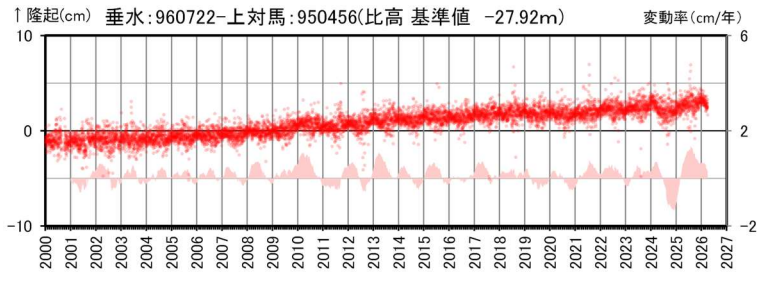
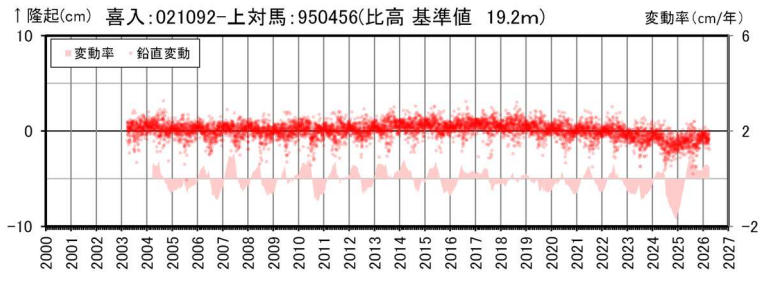


- ※1 2010年1月1日の基線長を基準値とし、基準値からの変化量を表示
- ※2 変動率は過去1年間のデータを用いて求めた近似式により算出
- ※3 950491(佐多)は、2021年6月27日以降データの公開が停止したが、9月8日からデータの公開を再開
- ※4 青色の▼と点線は「3. モニタリング評価結果」で地震時による変動を補正した地震を示す

基線⑨～⑪の時系列変化

本資料で用いている図面の作成に当たっては、国土地理院基盤地図情報の「基盤地図情報(数値標高モデル)」10mメッシュを使用したものである。

④ 阿多カルデラ [主な監視項目: 地殻変動・地盤変動(GNSS各観測点の鉛直変動)]



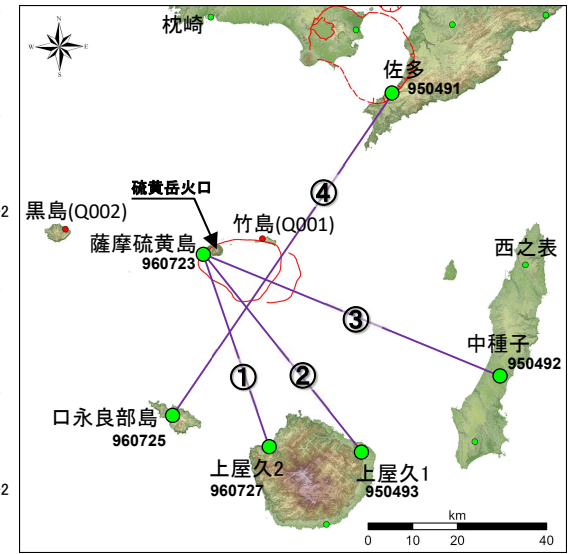
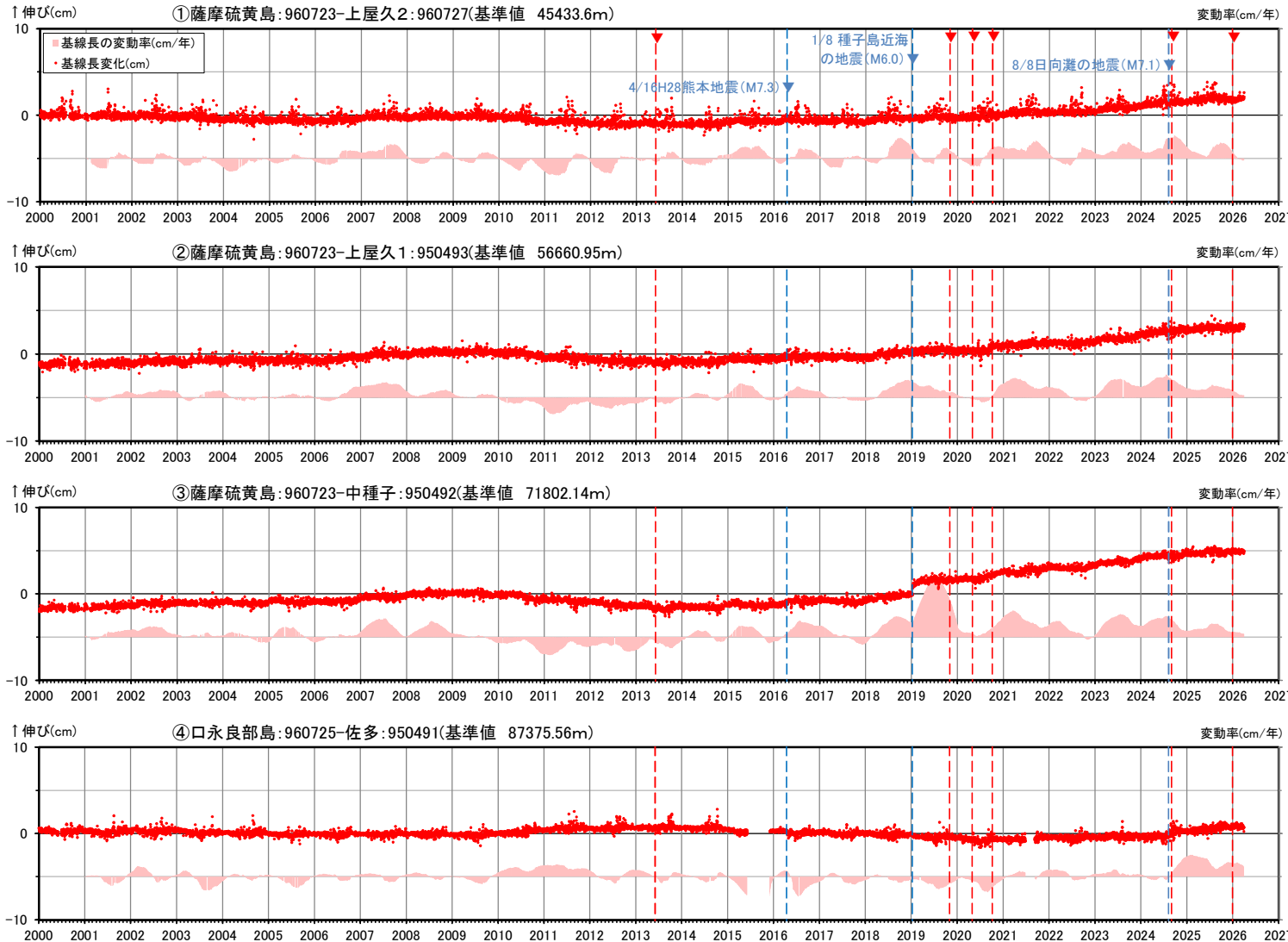
● 国土地理院のGNSS観測点

- ※1 2010年1月1日での950456(上対馬)との比高を基準値とし、基準値からの変化量を表示
- ※2 変動率は過去1年間のデータを用いて求めた近似式により算出
- ※3 950491(佐多)は、2021年6月27日以降データの公開が停止したが、9月8日からデータの公開を再開

本資料で用いている図面の作成に当たっては、国土地理院基盤地図情報の「基盤地図情報(数値標高モデル)」10mメッシュを使用しましたものである。

950456(上対馬)を固定点とした比高の時系列変化

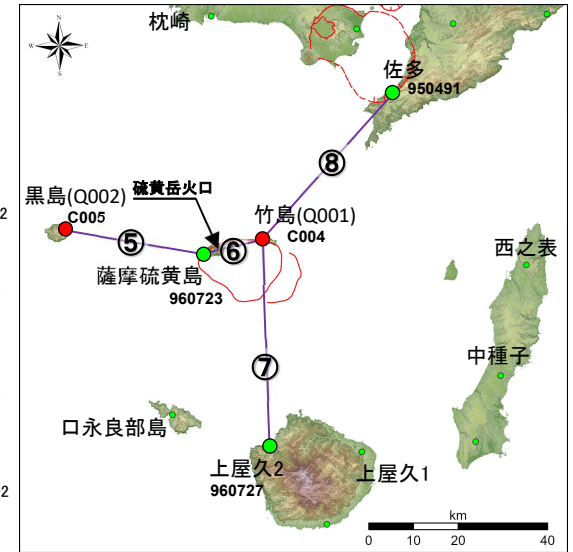
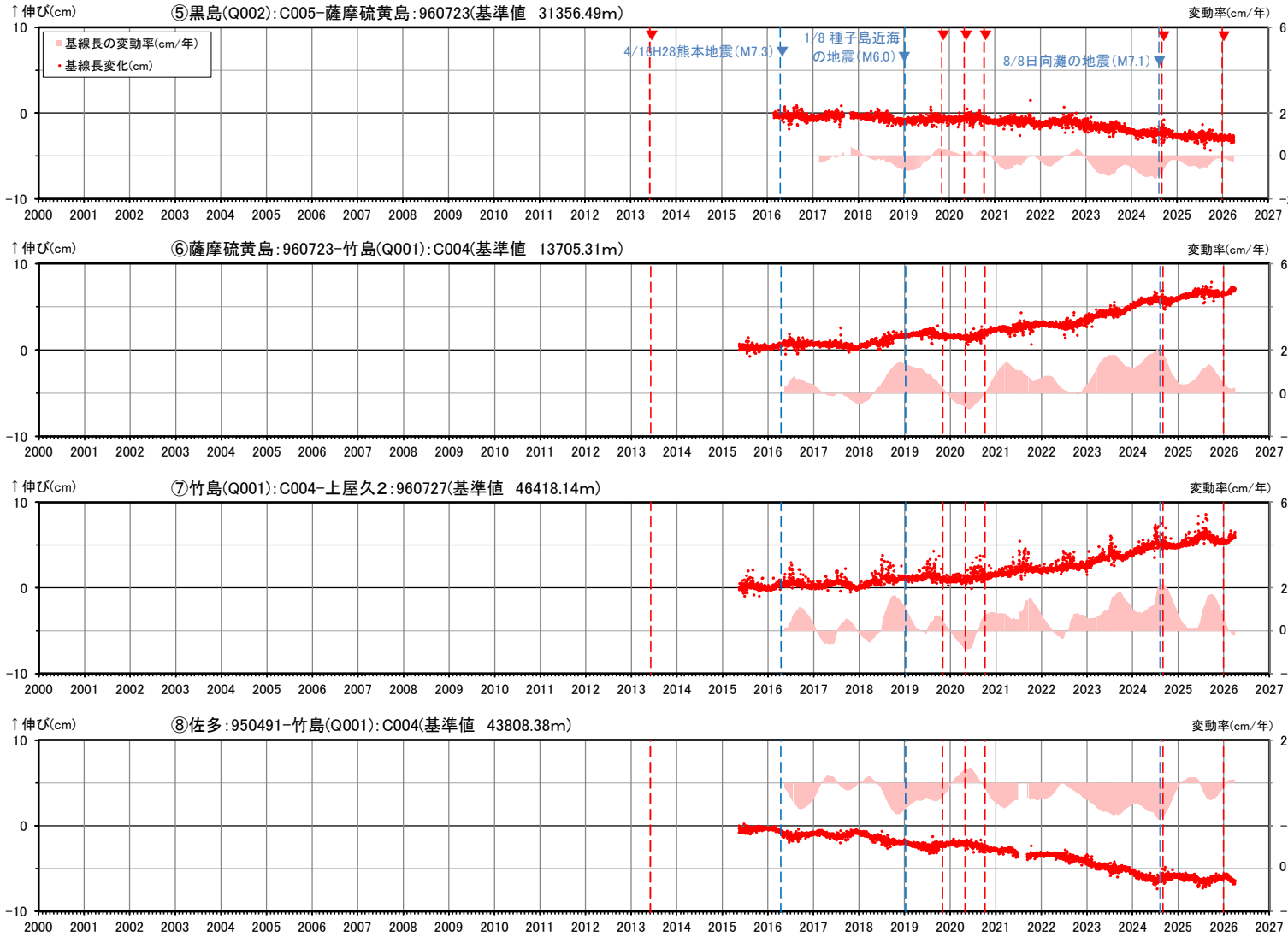
⑤ 鬼界 [主な監視項目: 地殻変動・地盤変動(GNSS基線長変化)]



- 国土地理院のGNSS観測点
 - 九州電力のGNSS観測点
 - ※1 2010年1月1日の基線長を基準値とし、基準値からの変化量を表示
 - ※2 変動率は過去1年間のデータを用いて求めた近似式により算出
 - ※3 口永良部島地点については、2015年5月29日の噴火の影響で停電が発生したことで、6月7日以降欠測、停電が解消した12月2日から観測を再開
 - ※4 佐多地点については、2021年6月27日以降データの公開が停止したが、9月8日からデータの公開を再開
 - ※5 赤色の▼は薩摩硫黄島の主な噴火を示す
 - ※6 青色の▼と点線は「3. モニタリング評価結果」で地震時による変動を補正した地震を示す
- 本資料で用いている図面の作成に当たっては、国土地理院基盤地図情報の「基盤地図情報(数値標高モデル)」10mメッシュを使用したものである。

基線①～④の時系列変化

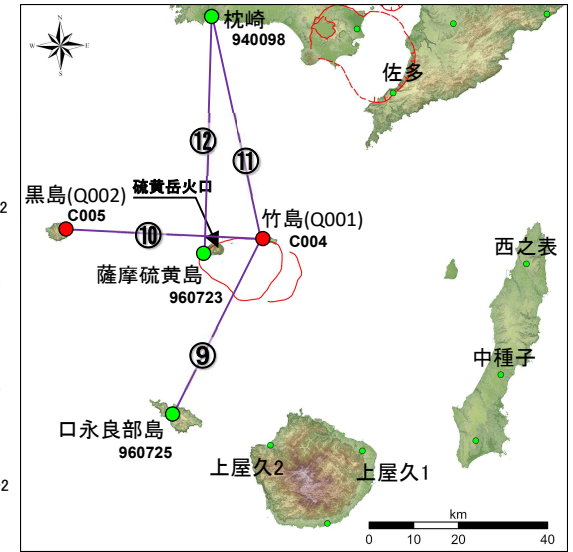
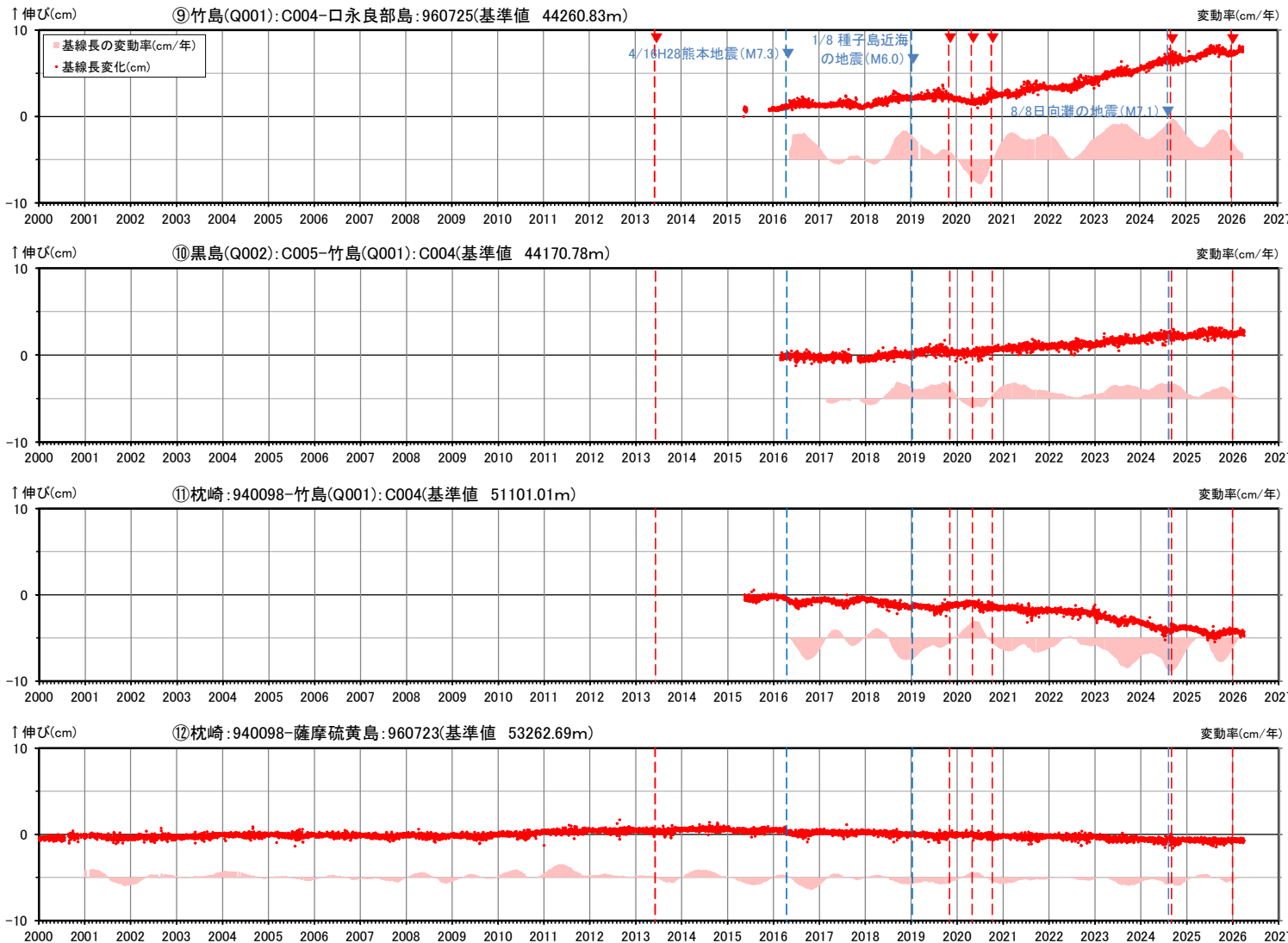
⑤ 鬼界 [主な監視項目:地殻変動・地盤変動(GNSS基線長変化)]



- 国土地理院のGNSS観測点
 - 九州電力のGNSS観測点
 - ※1 基線⑤は2016年2月22日の基線長を、基線⑥～⑧は2015年5月14日の基線長を基準値とし、基準値からの変化量を表示
 - ※2 変動率は過去1年間のデータを用いて求めた近似式により算出
 - ※3 佐多地点については、2021年6月27日以降データの公開が停止したが、9月8日からデータの公開を再開
 - ※4 黒島(Q002)は2017年9月6日～10月31日までデータが取得できていない
 - ※5 赤色の▼は薩摩硫黄島の主な噴火を示す
 - ※6 青色の▼と点線は「3. モニタリング評価結果」で地震時による変動を補正した地震を示す
- 本資料で用いている図面の作成に当たっては、国土地理院基盤地図情報の「基盤地図情報(数値標高モデル)」10mメッシュを使用したものである。

基線⑤～⑧の時系列変化

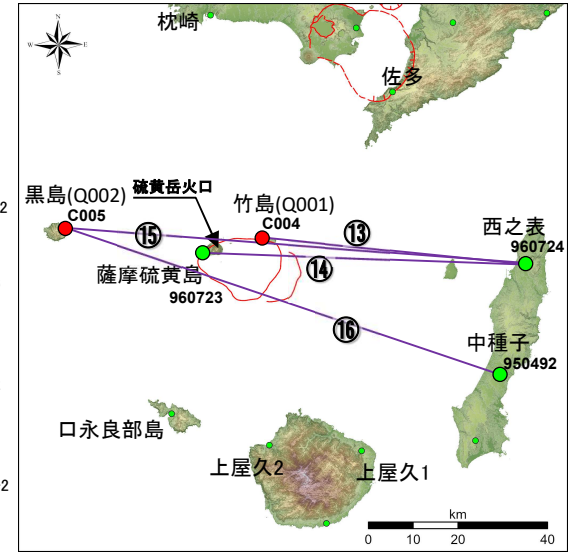
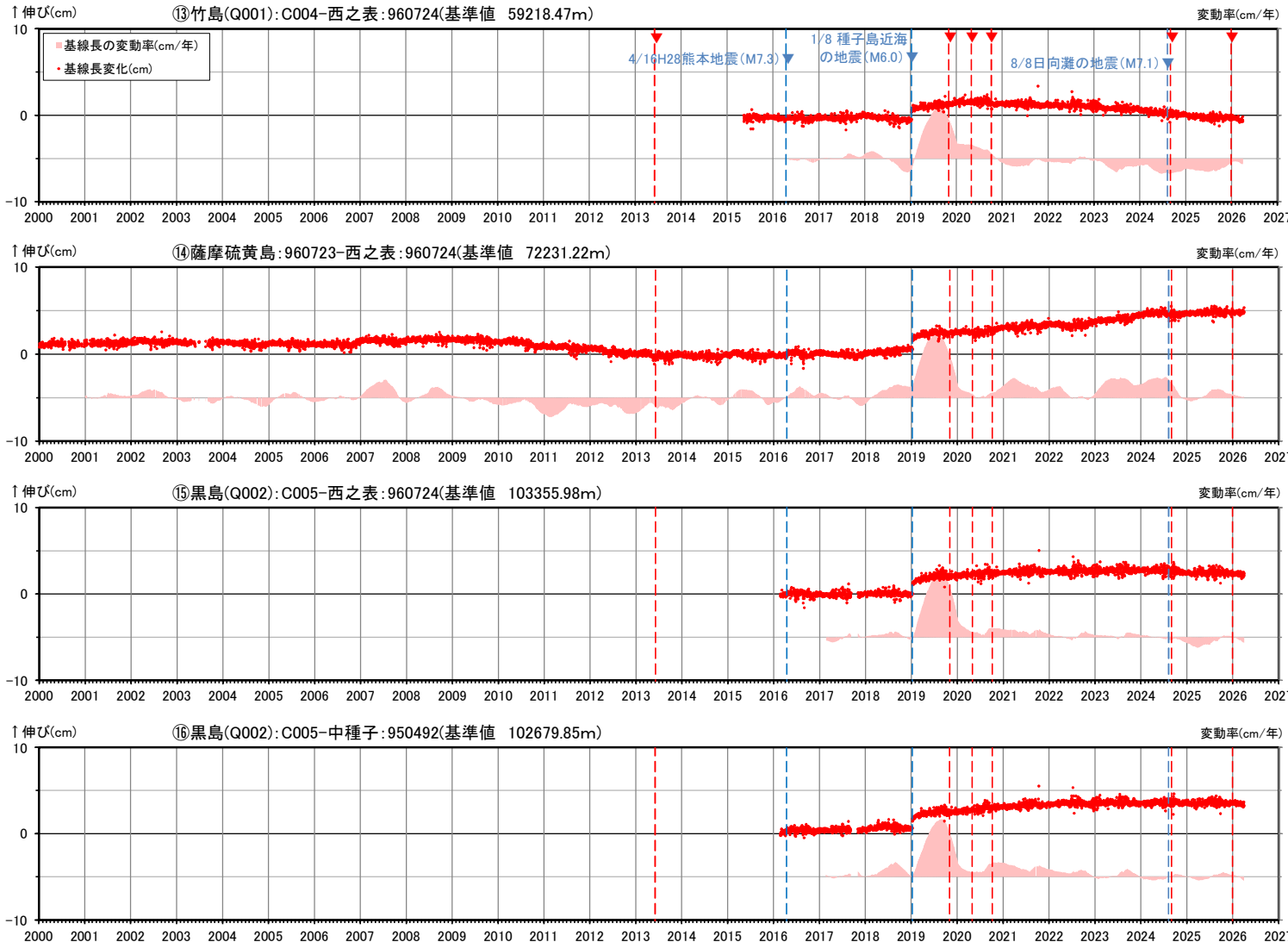
⑤ 鬼界 [主な監視項目: 地殻変動・地盤変動(GNSS基線長変化)]



- 国土地理院のGNSS観測点
 - 九州電力のGNSS観測点
- ※1 基線⑨、⑪は2015年5月14日の基線長を、基線⑩は2016年2月22日の基線長を、基線⑫は2010年1月1日の基線長を基準値とし、基準値からの変化量を表示
- ※2 変動率は過去1年間のデータを用いて求めた近似式により算出
- ※3 口永良部島地点については、2015年5月29日の噴火の影響で停電が発生したことで、6月7日以降欠測、停電が解消した12月2日から観測を再開
- ※4 黒島(Q002)は2017年9月6日～10月31日までデータが取得できていない
- ※5 赤色の▼は薩摩硫黄島的主要な噴火を示す
- ※6 青色の▼と点線は「3. モニタリング評価結果」で地震時による変動を補正した地震を示す
- 本資料で用いている図面の作成に当たっては、国土地理院基盤地図情報の「基盤地図情報(数値標高モデル)」10mメッシュを使用したものである。

基線⑨～⑫の時系列変化

⑤ 鬼界 [主な監視項目: 地殻変動・地盤変動(GNSS基線長変化)]

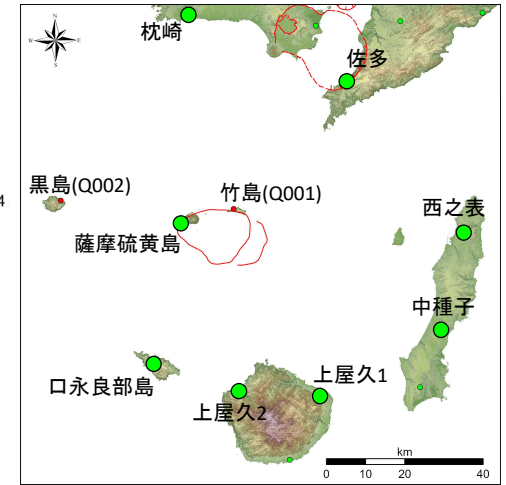
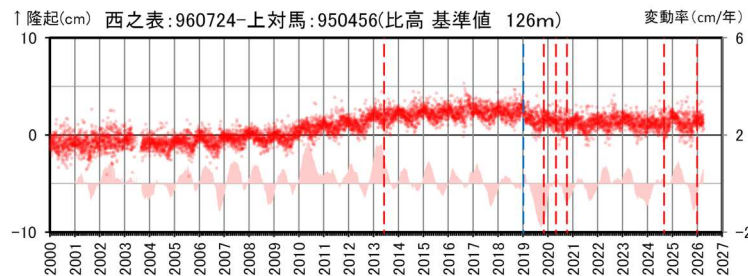
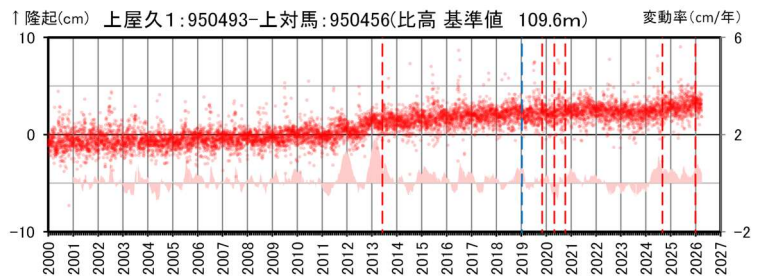
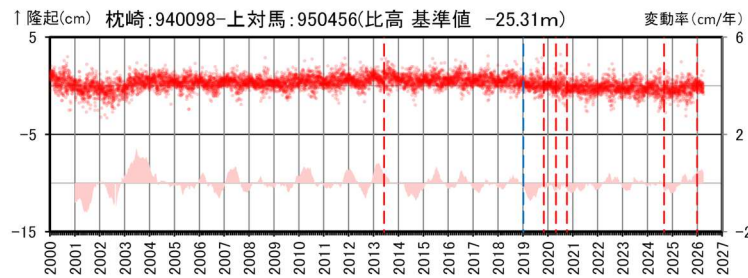
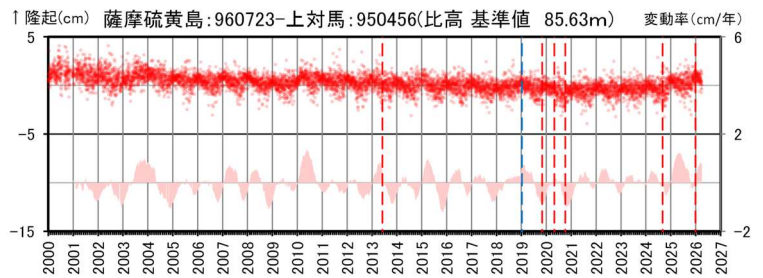
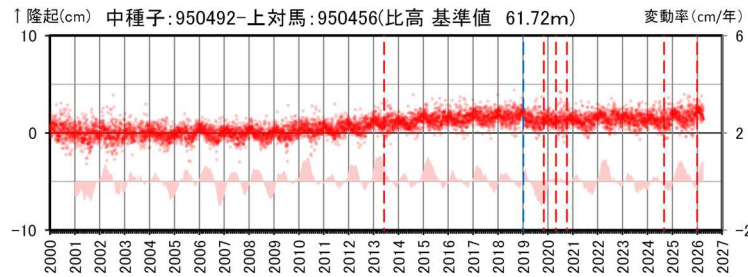
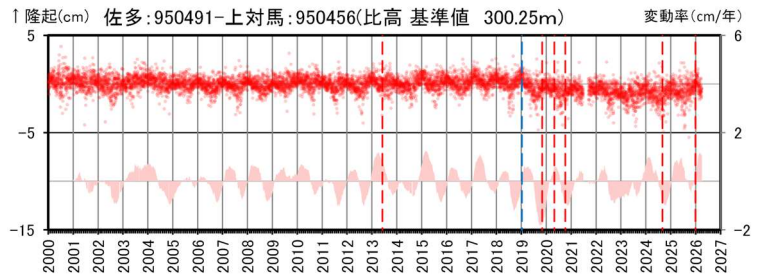
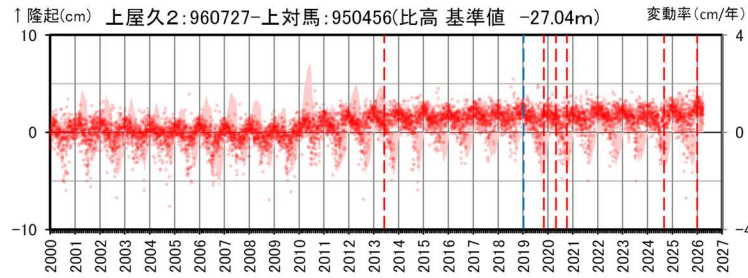
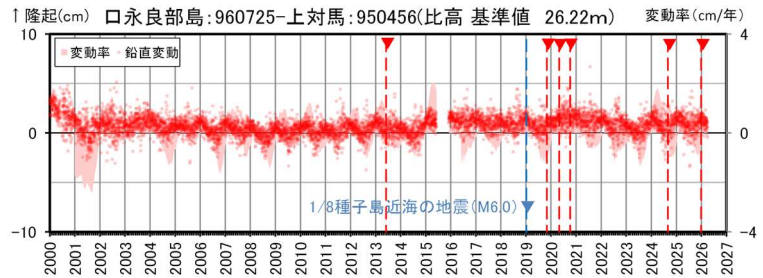


- 国土地理院のGNSS観測点
- 九州電力のGNSS観測点
- ※1 基線⑬は2015年5月14日の基線長を、基線⑮は2016年2月22日の基線長を、基線⑯は2016年2月23日の基線長を、基線⑭は2010年1月1日の基線長を基準値とし、基準値からの変化量を表示
- ※2 変動率は過去1年間のデータを用いて求めた近似式により算出
- ※3 黒島(Q002)は2017年9月6日～10月31日までデータが取得できていない
- ※4 赤色の▼は薩摩硫黄島の主な噴火を示す
- ※5 青色の▼と点線は「3. モニタリング評価結果」で地震時による変動を補正した地震を示す

本資料で用いている図面の作成に当たっては、国土地理院基盤地図情報の「基盤地図情報(数値標高モデル)」10mメッシュを使用したものである。

基線⑬～⑯の時系列変化

⑤ 鬼界 [主な監視項目: 地殻変動・地盤変動(GNSS各観測点の鉛直変動)]



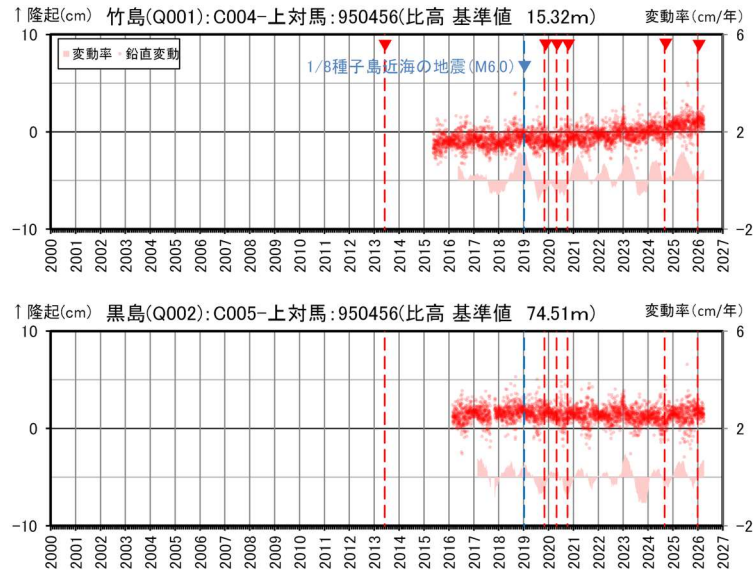
- 国土地理院のGNSS観測点
- 九州電力のGNSS観測点

- ※1 2010年1月1日での950456(上対馬)との比高を基準値とし、基準値からの変化量を表示
- ※2 変動率は過去1年間のデータを用いて求めた近似式により算出
- ※3 口永良部島地点については、2015年5月29日の噴火の影響で停電が発生したことで、6月7日以降欠測、停電が解消した12月2日から観測を再開
- ※4 佐多地点については、2021年6月27日以降データの公開が停止したが、9月8日からデータの公開を再開
- ※5 赤色の▼は薩摩硫黄島の主な噴火を示す
- ※6 青色の▼と点線は「3. モニタリング評価結果」で地震時による変動を補正した地震を示す

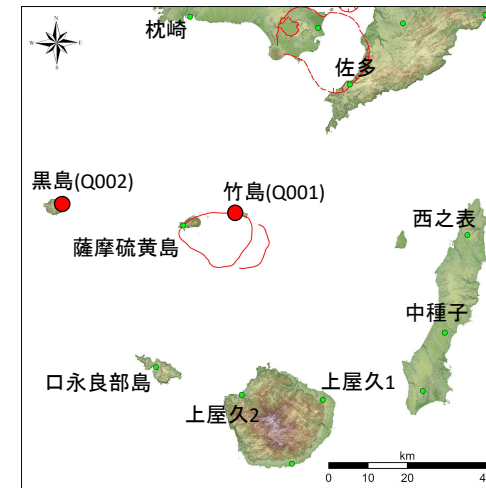
本資料で用いている図面の作成に当たっては、国土地理院基盤地図情報の「基盤地図情報(数値標高モデル)」10mメッシュを使用したものである。

950456(上対馬)を固定点とした比高の時系列変化

⑤ 鬼界 [主な監視項目: 地殻変動・地盤変動(GNSS各観測点の鉛直変動)]



950456(上対馬)を固定点とした比高の時系列変化



- 国土地理院のGNSS観測点
- 九州電力のGNSS観測点

- ※1 竹島(Q001)は2015年5月14日、黒島(Q002)は2016年2月22日での上対馬(950456)との比高を基準値とし、基準値からの変化量を表示
- ※2 変動率は過去1年間のデータを用いて求めた近似式により算出
- ※3 黒島(Q002)は2017年9月6日～10月31日までデータが取得できていない
- ※4 赤色の▼は薩摩硫黄島の主な噴火を示す
- ※5 青色の▼と点線は「3. モニタリング評価結果」で地震時による変動を補正した地震を示す

本資料で用いている図面の作成に当たっては、国土地理院基盤地図情報の「基盤地図情報(数値標高モデル)」10mメッシュを使用したものである。